名古屋市博物館

年　　報

令和５年度

*No.*47

名古屋市博物館

はじめに

名古屋市博物館は中部地方を代表する歴史系の総合博物館として、尾張の歴史・文化に関わる資料の収集保存、調査研究を行い、また、国内外の優れた文化財を紹介する展覧会を開催し、地域の歴史・文化を見つめ直す機会を提供しています。本書は、当館が令和5年度に実施した事業の概要を報告するものです。

資料の収集、調査研究活動としては、343 件 13,176 点の資料を収集し、秀吉研究の推進では、『豊臣秀吉文書集』第9巻を刊行しました。「よみがえれ文化財」事業では、積極的な館蔵資料の活用のために、「田中大山山車車輪」「韓信図」の修復を行いました。

展覧会では、共催展2本を開催しました。市域の瑞穂通商店街振興組合、大須商店街連盟と開催した「The 名古屋市博物館」では、博物館が近年収集した重要文化財「豊臣家文書」をはじめとする資料の収集や修復、これまで行った展示、地域と連携したイベントなどの活動を紹介し、リニューアル計画が進むこれからの博物館の姿も展示しました。「水木しげる生誕100周年記念　水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた～」では、漫画家として知られる水木しげる(1922～2015)の妖怪画創作の裏側に注目し、貴重な本人所蔵の妖怪関連資料や漫画作品の原稿などとあわせて妖怪画を展示しました。

常設展「尾張の歴史」では、フリールームで、縄文時代の遺跡である大曲輪遺跡（瑞穂区）に関する資料を展示した「縄文時代とそのくらし～大曲輪遺跡～」、テーマ10で、天正12年（1584）の小牧・長久手の戦いで豊臣秀吉と徳川家康が発給した安堵状や禁制などの文書を展示した「文書に見る小牧・長久手の戦い」などを展示替企画として実施しました。

これらに加え、まが玉づくりや昔のおもちゃを体験できる「歴史体験セミナー」、小学校3年生の社会科学習単元にあわせた「なごやのうつりかわり」事業を実施しました。

博物館の魅力向上に向けた取組みでは、リニューアル改修に向けて展示・収蔵環境等の実施設計などを実施しました。また、10月1日からの休館を前に、9月30日には「名古屋市博物館 休館セレモニー」を開催しました。

また、休館中の11月4日には庭園と1階ロビーで杉原千畝（すぎはらちうね）「命のビザ」の舞台であるリトアニアを紹介する「リトアニアのゆうべ inNAGOYA」を開催しました。

分館の名古屋市蓬左文庫では、「徳川家康－天下人への歩み－」など2本の特別展と、5本の企画展を開催するとともに、講演会や蓬左文庫講座などを実施しました。

名古屋市秀吉清正記念館では、特別陳列「桶狭間の戦い」のほか、3 本のパネル展示、2本の特集展示を開催しました。

名古屋市博物館は、地域の歴史・文化を市民の皆様に紹介するという使命をもとに、リニューアル改修を通じて、時代の変化に即した博物館に生まれ変わり、より一層親しまれるよう取り組んでまいります。引き続き、皆様のご助力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月

名古屋市博物館

目　次

はじめに

事業概要

Ⅰ 展　示 ---------- 3

1 常設展　2 特別展　3 大学パートナーシップ　4 その他

Ⅱ 教育・普及 ---------- 8

1 広報　2 学校連携活動　3 教育普及活動　4 出版物

Ⅲ 資　料 ---------- 11

1 調査　2 収集　3 特別利用　4 資料の貸出　5 収集資料目録

6 指定・認定文化財一覧（館蔵資料）　7 指定・認定文化財一覧（受託資料）

Ⅳ 管理・運営 ---------- 25

1 博物館の魅力向上　2 みんなの博物館応援基金

分　館

Ⅰ 名古屋市蓬左文庫 ---------- 27

1 閲覧　2 展示　3 教育普及　4 調査研究　5 出版物　6 特別利用

7 複写　8 資料点数　9 資料の貸出　10 指定文化財一覧（所蔵資料）

Ⅱ 名古屋市秀吉清正記念館 ---------- 32

1 展示　2 教育普及等　3 特別利用　4 資料の貸出　5 資料収集一覧

6 資料収集状況　7 指定文化財一覧（館蔵資料）

機　構---------- 36

名古屋市博物館協議会開催状況 ---------- 38

予　算---------- 38

名古屋市博物館利用状況---------- 39

1 特別展　2 常設展　3 月別入場者数　4 ギャラリー・講堂利用日数

5 年度別入場者数

出版物案内 ---------- 43

事　業　概　要

Ⅰ 展　　示

1 常　設　展

常設展では旧石器時代から現代までの尾張の歴史を 16 のテーマに分け、約 1,000 点の実物・複製資料により紹介している。愛知県と連携して作成した三河など周辺地域に関連する複製資料も展示し、より広い視点で尾張の歴史を紹介している。

長期間展示できない資料などはフリールームやテーマ 10 などで、小テーマを設定して展示している。本年度は「誰かが家にやってくる」「下郷善右衛門家の書画」「設楽のしかうち行事」などを開催した。

10 月 1 日からのリニューアル改修に伴う休館に入る前は、フリールームとテーマ 10 においてこれまでと計画中の常設展を紹介する「常設展これまでとこれから」を開催した。

展示解説として説明キャプション、写真パネルのほか、ボランティアによる「展示ガイド」などを行った。

観 覧 料　一　般　300 円　　高大生　200 円
　　中学生以下無料

観覧者数　42,116 人

(1) フリールームの展示替

「幕末の尾張名古屋」

会　　期　3 月 29 日～5 月 21 日

展示意図　　初公開となる『尾陽熊手図絵』はじめ、館蔵資料によって、幕末の尾張藩の動向や激動の時代を生きた人々の姿を紹介した。

展示件数　12 件 23 点

「誰かが家にやってくる」

会　　期　5 月 24 日～6 月 25 日

展示意図　　薬売り、万歳、花嫁、神さま―むかしは折を見てさまざまな人や神が家を訪れた。来訪者を通して昔の暮らしを紹介した。

展示件数　22 件 58 点

「縄文時代とそのくらし～大曲輪遺跡～」

会　　期　6 月 28 日～8 月 27 日

展示意図　　大曲輪遺跡と下内田貝塚出土のさまざまな遺構の一部（貝層断面）や遺物に加え、発掘調査時の写真などの調査関係資料を展示した。博物館と同じ瑞穂区内に所在する両遺跡では、縄文時代早期から晩期にかけて、長期間の人々の営みの痕跡が発見されている。

展示件数　23 件 383 点

「常設展これまでとこれから」

会　　期　8 月 29 日～9 月 30 日

展示意図　　常設展「尾張の歴史」は、長らく博物館の顔としてこの地域の歴史を伝えてきた。展示が始まったのが開館翌年の昭和 53 年（1978）。”初代”の常設展示はおよそ 10 年間でリニューアルすることになり、平成元年（1989）には”二代目”の「尾張の歴史」が始まった。本年からのリニューアル改修により「尾張の歴史」も大きく生まれ変わる予定である。今までの常設展の歩みを振り返り、新しい常設展の計画を紹介した。その中で地域の文化財を紹介する機能として国宝「古事記」、重要文化財「尾張国解文」（大須観音宝生院蔵）を展示した。

展示件数　23 件 45 点

(2) 近世尾張の文化（テーマ 10）の展示替

「没後 200 年　田中訥言」

会　　期　令和 5 年 3 月 1 日～4 月 23 日

展示意図　　「日月図屏風」や「若竹鶺鴒図」、「羅陵王図」など、尾張出身の画家、田中訥言（1767～1823）による優品と名古屋に伝来

する作例を前後期に分けて紹介。
展示件数　6 件 7 点

「下郷善右衛門家の書画」
会　　期　4 月 26 日～6 月 25 日
展示意図　　東海道鳴海宿（現緑区鳴海町）の豪商・下郷善右衛門家に伝来した書画を紹介した。
展示件数　15 件 15 点

「文書に見る小牧・長久手の戦い」
会　　期　6 月 28 日～8 月 27 日
展示意図　　羽柴秀吉と徳川家康・織田信雄による戦いの中で、両軍が自軍を有利に導くため発給した様々な文書を紹介した。
展示件数　8 件 8 点

(3) まつり（テーマ 16）の展示替

「屋根神」
会　　期　令和 5 年 3 月 1 日～4 月 23 日
展示意図　　軒先や屋根にまつられている屋根神さま。近年受贈した屋根神の祠と、市内各所で撮影された屋根神の風景を紹介した。
展示件数　3 件 3 点

「設楽のしかうち行事」
会　　期　4 月 26 日～6 月 25 日
展示意図　　北設楽郡東栄町小林地区で実際に使用された資料を通して愛知県無形民俗文化財「設楽のしかうち行事」を紹介した。
展示件数　4 件 7 点

「天王祭り」
会　　期　6 月 28 日～8 月 27 日
展示意図　　尾張地方各地で多様なかたちで行われる、病除けを願う天王祭りを紹介した。
展示件数　5 件 6 点

「山車揃え」
会　　期　8 月 29 日～9 月 30 日
展示意図　「名古屋型山車」と呼ばれる形式の山車を中心に、館蔵の山車模型や山車玩具を展示。
展示件数　6 件 15 点

(4) 話題のコーナー

「古代のアクセサリー」
会　　期　7 月 26 日～9 月 3 日
展示意図　　体験セミナーでも取り上げる勾玉等、弥生時代から古墳時代の装飾品を展示し、古代の装飾品を知ってもらう機会とした。
展示件数　10 件 19 点

(5) 博物館ボランティアの活動

本年度に活動したボランティア登録人数 69 名
《活動状況》
・開館日の 10 時から 15 時まで、常設展ガイドとして活動。毎日 2 人。1 日 2 回の定時ガイド（11 時～、14 時～）、随時ガイドを実施した。いずれも申込制。寺子屋・古文書の会という勉強会も開催した。休館をもって一旦解散とした。

定時ガイド実施人数	延 406 名
随時ガイド実施人数	延 831 名

・歴史体験セミナーの運営補助
※感染症防止策のため参加中止
・なごやのうつりかわり体験学習室の運営補助
※感染症防止策のため参加中止
・定例総会　4 月 8 日・9 月 30 日
・勉強会　3 回（4/22、6/24、5/21）
・見学会　2 回（6/7、9/7）

(6) イキイキ博物館

「尾張の歴史」や博物館自体に親しんでもらえるよう各種イベント、ワークショップなどを開催した。

ア はくぶつかんクイズラリー
「博物館からの脱出」
日　時　7 月 15 日～9 月 3 日（43 日間）
9 時 30 分～17 時
会　場　常設展示室内
参加費　無料、ただし高校生以上は常設展入場料（特

別展「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展」の半券でも入場可)

概　要　妖怪によって、常設展「尾張の歴史」にとじこめられてしまったという設定のうえ、妖怪からの挑戦を受け、博物館からの脱出を目指すというクイズラリー。クイズは４種類用意し、難易度を選べるようにしたことで、どの年齢層でも楽しめるように努めた。展示されている資料や解説をよく見ることで、展示資料への関心をもってもらえるようなクイズとした。参加後は、出口にて解答編を配布し、「脱出成功」「脱出失敗」のスタンプをワークシートに押せるようにした。

参加数　延 7,920 人

イ はくぶつかん古書市

日　時　8 月 26 日～9 月 3 日　9 時 30 分～17 時

会　場　展示説明室前

概　要　郷土史・歴史書の古書販売を、名古屋古書籍商業協同組合の協力により実施した。

ウ 名古屋市博物館サポーターMARO の活動

MARO は、名古屋市立大学と名古屋市博物館の連携による、地域の活性化を目指す名古屋市立大学の公認団体。平成 20 年(2008)以来、当館にて学生主導の活動を行なっている。本年度は、感染症拡大防止対策にも配慮しながら春に対面イベントを実施し、夏には常設展示室の一角で展示企画を行った。

また特別展「The 名古屋市博物館　豊臣家文書収集と博物館の現在地」では市民と連携した活動の実例として MARO についての展示コーナーを設置しており、展示資料の提供や展示作業は MARO が行った。

・ワークショップイベント「三英傑と遊ぼう～これであなたも天下人～」

日　時　4 月 29 日・30 日　10 時～15 時 30 分

会　場　展示説明室

参加費　無料

概　要　「三英傑」と呼ばれる織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の 3 人と、3 人にゆかりのある博物館の展示資料を題材にして MARO が作成したカードゲームとすごろくで遊ぶ体験型イベント。

参加数　29 日 62 人・30 日 76 人（合計 138 人）

・企画展示「平成おもちゃ展」

期　間　8 月 23 日～９月 30 日

会　場　常設展示室

概　要　大学生のメンバーが幼い頃遊んだおもちゃを思い出のエピソード共に展示した。また来館者それぞれが自身にとっての懐かしのおもちゃ・おもちゃにまつわる思い出を自由に書き込み、共有できる掲示板を設置した。

2 特　別　展

(1) 特別展 The 名古屋市博物館　豊臣家文書収集と博物館の現在地

会　　期　4 月 29 日～6 月 11 日

（開室日数 37 日）

会　　場　特別展示室・部門展示室

主　　催　名古屋市教育委員会、名古屋市博物館、瑞穂通商店街振興組合、大須商店街連盟

観 覧 料　一　般 800 円　高大生 500 円

中学生以下無料

観覧者数　3,031 人

展示意図　名古屋市博物館は、近年、重要文化財「豊臣家文書」の収集、市民の寄付による資料修復、様々な方法による展示や市民と連携したイベントなど多彩な活動を行ってきた。さらに、これからの時代に即した魅力ある博物館になるための計画を進めている。リニューアル改修のための休館を目前に控えた本展では、「豊臣家文書」をお披露目し、新しい取り組みなどから、名古屋市博物館の現在地と博物館が目指すこれからを紹介した。

展示件数　148 件

印 刷 物　ポスターB3 判、チラシ A4 判、観覧券、展覧会図録

関連事業　会期中、展覧会に関連するテーマで「はくぶつかん講座」を開催した。

5 月 6 日　名古屋市博物館の現在地

学芸課長　瀬川貴文　47 人
5 月 13 日　豊臣家文書の世界へようこそ
学芸員　岡村弘子　59 人
5 月 20 日　博物館資料の保存と修復
学芸課主査　山田伸彦　39 人
5 月 27 日　収蔵品になるまでの話
-伊藤章一映像資料の受贈を例に-
学芸員　藤原吉希　38 人

(2) 特別展　水木しげる生誕 100 周年記念　水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた～

会　　期　7 月 15 日～9 月 24 日
（開室日数 61 日）
会　　場　特別展示室・部門展示室
主　　催　名古屋市教育委員会・名古屋市博物館、中日新聞社、NHK 名古屋放送局、NHK エンタープライズ中部
観 覧 料　一　般 1,600 円　高大生 900 円
小中生 500 円
観覧者数　70,967 人
展示意図　日本を代表する漫画家の一人、水木しげる（1922～2015）。令和 4 年（2022）の生誕 100 周年を機に企画された本展では、その妖怪画創作の裏側に注目し、貴重な本人所蔵の妖怪関連資料や漫画作品の原稿などを公開することで、先人たちの築いてきた妖怪世界をリスペクトしつつさらに豊かなものに発展させた水木しげるの仕事に迫った。
展示件数　258 点
印 刷 物　ポスターB1・B2・B3 判、チラシ A4 判、観覧券、展覧会案内状、妖怪カード 11 種、出品原画リスト、出品目録、展覧会図録
関連事業
・記念講演会（事前応募定員各回 70 人）
7 月 22 日　①10:30～　②13:30～
「水木しげるロードへ行こう！＆水木しげる記念館来春リニューアル Open！」
講師　古徳健雄氏（境港市観光振興課　水木しげる記念館担当）　①50 人　②49 人
・ナイトミュージアム（事前応募定員 70 人）
8 月 15 日（台風接近のため 9 月 2 日に延期）
講師　原口尚子氏（水木プロダクション）　57 人

3　大学パートナーシップ

大学生に博物館の楽しさ、素晴らしさを知ってもらうため、平成 22 年（2010）4 月 1 日より大学パートナーシップ事業を始めた。学生証の提示により展覧会を観覧できることで大学等と博物館の連携をはかった。

公立学校法人名古屋市立大学、学校法人菊武学園（名古屋産業大学・名古屋経営短期大学・菊武ビジネス専門学校・専門学校名古屋ウェディング＆フラワー・ビューティ
学院）、名古屋大学、南山大学、愛知大学、愛知淑徳大学、学校法人名古屋学院大学、中京大学、学校法人愛知学院、学校法人中西学園（名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、名古屋ファッション専門学校、名古屋栄養専門学校、名古屋製菓専門学校）、豊田工業大学、金城学院大学、椙山女学園大学、学校法人同朋学園（名古屋造形大学、同朋大学、名古屋音楽大学）
利用者数 3,065 人

4　そ　の　他

もしも猫展

会　　期　9 月 23 日～11 月 12 日
（開室日数 44 日）
会　　場　京都府京都文化博物館
主　　催　京都府、京都文化博物館、読売テレビ
観 覧 料　一　般 1,600 円　高大生 1,000 円
小中生 500 円
観覧者数　30,742 人
展示意図　猫の擬人化作品と、それらを描いた歌川国芳を主軸に据えながら、江戸時代の擬人化表現の面白さと国芳作品の魅力に着目。
令和 4 年（2022）に名古屋市博物館において企画開催した展覧会を京都文化博物館へ巡回した。

展示件数　135 点

印 刷 物　ポスターB1・B2・B3 判、チラシ A4 判、観覧券、展覧会案内状、謎解きゲームキット、出品目録、展覧会図録

関連事業

・講演会（事前応募定員 150 人）

10 月 7 日　10:30～12:00

「国芳、猫を描く」

講師　津田卓子（当館学芸課主査）

・学芸員によるギャ（ニャ）ラリートーク（当日受付）

9 月 27 日　14:00～14:30

10 月 4 日　14:00～14:00

10 月 22 日　11:00～11:30

講師　有賀茜（京都府京都文化博物館学芸員）

Ⅱ　教育・普及

1　広　報

各展覧会や行事に関するプレスリリース、ポスター・チラシの配布を幅広く行うとともに、当館の取り組み全般について、ウェブサイトやSNSを活用した直接的な情報発信を積極的に行った。

ウェブサイトアクセス件数(Googleアナリティクス4)	1,101,948件
Facebook投稿数	125件
X(旧Twitter)投稿数	535件

2　学校連携活動

名古屋市内の小中学校および高校と連携しながら、学校における博物館の活用促進や学生の歴史学習意欲の向上を目的としている。例年のように各種の学校連携事業を実施したが、10月から休館する流れであったため、令和5年度1学期中の参加者学校数や児童数は、例年より少なかった。

(1) 出前歴史セミナー

教育委員会と博物館、美術館、科学館等が行っている「その道の達人派遣事業 出前ミュージアム」の一環として実施している事業である。学芸員が小中学校に出向き、実物資料を用いて説明する出前授業で、休館中も実施した。

○「名古屋の古墳博士になろう」
2校（3学級 91人）
○「愛知のまつりとからくり人形」
8校（22学級 650人）
○「合戦における火縄銃」
10校（22学級 667人）
○「東大寺に行くナラ」
9校（20学級 570人）
計 29校（67学級 1,978人）

(2) 社会科学習連携事業

名古屋市立小中学校の社会科研究会教員の協力を得て、小中学生が博物館の展示を見学して効果的に学習できるように、考慮すべき点や館蔵資料の魅力の伝え方、学習方法について意見を交わした。

本年度は、博物館のリニューアル改修に伴う休館の期間を踏まえて、「なごやのうつりかわり」のウェブコンテンツ化や、体験室の代替案に関連する「貸出キット」を中心に意見交換を行った。

(3) なごやのうつりかわり体験事業

本事業は、小学校3年生社会科の学習課程に合わせ、なごやがうつりかわる様子を展示「なごやのうつりかわり」で紹介し、体験学習室を開室し、体験的に学習できるようにしている。本年度は休館中であったが、小学生の入館を受け入れて実施した。

団体利用　平日9時30分～14時45分
期　　間　令和6年1月10日～3月8日
計34日　　13,420人（209校）
※キャンセル1校
一般利用　なし
計 14,209人（引率教員を含む）

(4) 職場体験・職場訪問の受け入れ

中学生・高校生の職場体験・職場訪問の受け入れを行った。10月以降は休館中であったため、実施プログラムの一部を変更して行った。

○職場体験：9校28人
○職場訪問：7校31人

(5) 博物館実習生の受け入れ

大学における博物館関係科目専攻者・学芸員資格取得予定者の受け入れを行った。

期間　8月24日～28日　　延5日間　9校16人

また、大学における博物館関係科目の授業の一環として行われる博物館見学を受け入れた。資料収集・保存の概要説明、バックヤード見学、展示見学などを行った。　　11校386人

(6) 団体観覧

団体観覧は、一般団体をはじめ小中高校生による常設展「尾張の歴史」の見学が主なものである。

令和5年度は、学校団体からの常設展観覧申込がないまま、10月の休館を迎えた。

(7) 博学連携事業

○駒方中学校（昭和区）

9月14日　3年生77人

単元「現代社会の特色と私たち」で、「豊かなくらし」とは何かを考える授業を行った。当日は、学芸員がたらいや洗濯板、さまざまな素材の着物などを持参し、生徒たちが昔の暮らしを体験しながら、それぞれの時代の豊かなくらしを考える機会とした。

○汐路小学校（瑞穂区）

10月11日　6年生137人

社会科の歴史の単元に合わせて、「室町文化に親しむ」と題した授業を行った。室町時代の文化が今も残ること、昔の文化に興味を持つこと、そして文化を残していくことについて、具体的な作例を交えながら紹介した。

○昭和区の小学校（校名非公開）

11月10日

小学6年生の児童たちが社会科の授業で作成したポスター9点が披露された。名古屋の魅力を発信する目的で、織田信長と豊臣秀吉について、それぞれ関心を持ったテーマに焦点をあてて調べ、まとめあげたもので、着眼点や歴史的背景について学芸員がコメントを寄せた。

3　教育普及活動

展覧会だけでなく、以下のような体験型のイベントや講座、外部への学芸員派遣などを通じて、多様な教育の機会を提供するとともに、博物館に親しんでもらえるよう各種事業を実施した。

(1) 歴史体験セミナー

おもに小中学生を対象に、学校休業日（土・日）、夏休みおよび冬休みに博物館を利用してもらうために、楽しみながら学べる体験型プログラムとして実施した。

○「まねき猫絵付け体験」

5月5日　　午前:24人　午後:28人

○「むかしのおもちゃで遊ぼう」

けん玉・人形など、少し昔のおもちゃで自由に遊べる体験コーナーを設置。

7月19日～9月30日　一般　8,435人

中学生以下　6,744人

○「自分だけのまが玉づくり」

加工しやすい石（滑石）を使ってまが玉を作るイベントを開催。

8月26日：61人　　27日：60人

(2) はくぶつかん講座

第1回から10回まで実施した。定員70名、事前申込の先着順で参加者を受け付けた。なお第2回～第5回は、特別展「The名古屋市博物館」関連事業として実施した。

第1回　4月15日　新発見「尾陽熊手図絵」に見る幕末の名古屋
学芸員　木村慎平　51人

第2回　5月6日　名古屋市博物館の現在地
学芸課長　瀬川貴文　47人

第3回　5月13日　豊臣家文書の世界へようこそ
学芸員　岡村弘子　59人

第4回　5月20日　博物館資料の保存と修復
学芸課主査　山田伸彦　39人

第5回　5月27日　収蔵品になるまでの話-伊藤章一映像資料の受贈を例に-
学芸員　藤原吉希　38人

第6回　6月17日　来訪する人々の民俗
学芸員　佐野尚子　43人

第7回　7月8日　縄文時代の遺跡とその調査
学芸員　冨田航生　51人

第8回　8月12日　「本校ヨリノ通知」を読む
学芸員　加藤和俊　27人

第9回　8月19日　「一紙もの」の見方いろいろ
会計年度職員　加藤千沙　52人

第10回　9月2日　“北斎”絵手本と永楽屋
学芸課主査　津田卓子　59人

計466人

(3) 派遣依頼等対応

他の研究機関、自治体及び団体等で実施される

講演会等について、依頼に基づき当館学芸員を派遣した。

○5 月 23 日　中生涯学習センター　〈なごや学〉まさに「ごった煮文化」～「大須」の魅力を堪能する　講師　武藤真

○7 月 18 日　椙山女学園大学　博物館実習（学内実務実習）講師　岡村弘子

○7 月 25 日　東京国立博物館　染織コレクション科学研究費調査検討会　佐野尚子

○7 月 29 日～3 月 22 日　大阪狭山市教育委員会　狭山池シンポジウム 2022 記録集執筆　鈴木雅

○11 月 23 日　名古屋市立大学　寄附講座「秀吉の巨大城郭を読み解く」出演　岡村弘子

○12 月 2 日　名古屋市図書館　瑞穂区区政 80 周年記念事業講演会「瑞穂区の民俗をめぐって」講師　天野卓哉

○12 月 9 日　中山道広重美術館　連続講座「江戸庶民の遊びと愉しみ」講師　津田卓子

○令和 6 年 1 月 14 日　静岡市立歴史博物館　特別講演会・シンポジウム「信長・秀吉・家康の「天下」」講師　岡村弘子

○令和 6 年 1 月 17 日　全日本きものコンサルタント協会講演会　「浮世絵にみる江戸の猫」講師　津田卓子

○4 月 1 日～12 月 31 日　豊田市役所　新修豊田市史総集編部会　民俗班執筆協力員　天野卓哉

○通年　岐阜県中津川市　遠山家伝来資料調査工芸品調査員　佐野尚子

○通年　岐阜県神戸町教育委員会　神戸山王まつり記録作成委員会委員　佐野尚子

○通年　東京大学史料編纂所　附属画像史料解析センター共同研究員　津田卓子

○通年　西尾市教育委員会　西尾市史調査員　横尾拓真

計 14 件

(4) 博物館サポーター

本年 9 月 30 日時点の正サポーターは 40 人、家族サポーター5 人、総計 45 人であった。休館をもって一旦解散とした。

○館外見学会　最低催行人数に達せず開催中止。

○広報モニター会

特別展　「The 名古屋市博物館展」
4 月 29 日　16 人（1 人）

特別展　「水木しげる生誕 100 周年記念 水木しげるの妖怪 百鬼夜行展」
7 月 16 日　26 人（2 人）

※（　）内はサポーターの同伴者

4 出 版 物

（展覧会に関する印刷物は展示の項に記載）

○「名古屋市博物館だより」（年 2 回発行）

No.236 A4 変形判 6 頁 2,000 部（無料）
津田卓子「いよいよ、長期休館へ」
島村桂子「豊楽焼　浜松文茶碗」
天野卓哉「G 型自動織機に関する覚書」

No.237 A4 変形判 6 頁 2,000 部（無料）
津田卓子「リニューアルレポート 1」
山田伸彦「山本梅逸筆「西国名所真景図帖」」
小西恒典「名古屋市役所本庁舎新築と記念煙草セット」

○「名古屋市博物館年報」No.46（令和 4 年度）
博物館公式ウェブサイトに掲載

○「名古屋市博物館研究紀要」第 47 巻
A4 判 78 頁 700 部 500 円（税込）
小西恒典 「明治四十三年の名古屋城公開」
島村桂子 研究ノート「愛知県商品陳列所における陶磁器研究会について－「一楽会」を中心に－」
鈴木　雅 資料紹介「水役所用水配分村附帳－尾張藩水役所の用水管理について－」
瀬川貴文「ミュージアムリテラシー試論－名古屋市博物館を事例として－」
冨田航生 研究ノート「万場垣内遺跡出土の縄文土器片について－三河山間部の加曽利 E 式系（取組式・親田式）土器に関する覚書－」

○「年間行事予定」　A3 判 20,000 枚（無料）

○ 猿猴庵の本 第 30 回配本
『猿猴庵日記　天明五年』
A4 判 108 頁 950 部　1,200 円（税込）

Ⅲ 資　　料

1 調　査

(1) 資料情報

本年度に市内外から寄せられた資料に関する情報は、下表のように計 100 件であった。

資料情報件数		件　数
地域別	市　　内	65 件
	市　　外	29 件
	不　　明	6 件
	計	100 件
分野別（重複含）	考　　古	3 件
	美術工芸	33 件
	文書典籍	25 件
	民　　俗	40 件

(2) 調査研究

ア　秀吉研究の推進

この研究の目的は、全国に多数存在する豊臣秀吉の文書の情報を集積し、編年により翻刻掲載した『豊臣秀吉文書集』を刊行することにある。平成 25 年度に当該分野の研究者による同文書集の編集委員会を発足させ、平成 27 年（2015）1 月に第 1 巻を発刊した。以後毎年 1 巻ずつ刊行している。令和 4 年度までで、慶長 3 年（1598）の秀吉死去までの文書を収録した編年分（1～7 巻）と、補遺・年未詳文書（8 巻）の刊行を終えた。

本年度は、計 5 回の編集会議を行い、最終巻である 9 巻（総目録・索引）の編集作業を行い、刊行に至った。これで、当初計画した 9 巻全巻が完結したことになる。今後も秀吉文書情報の収集・発信に努めるとともに、編集過程で収集した秀吉の一族による発給文書情報の整理を進めていく。

イ　猿猴庵の本の出版

尾張藩士・高力猿猴庵が祭り・見世物・開帳などを記録した絵入り本を、原寸大カラー写真で掲載、翻刻・解説を付けて博物館資料叢書として継続的に出版している。本年度は、第 30 回目の配本として『猿猴庵日記　天明五年』を発刊した。

2 収　集

(1) 資料収集方針

考古・美術工芸・文書典籍・民俗の各分野において基本方針と目標を定め、資料の収集を行った。

ア　考古分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の考古に関する資料

日本考古学上基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の個人コレクションの収集

○各時代・時期に当地域が属した「文化圏」内で出土したことが明らかな資料の収集

○出土地域に関わらず、以下の諸点において、当地域との関連が深いと認められる資料の収集

・資料自体が当地方の生産品であることが明らかな資料

・資料自体が当地方の属した「文化圏」の影響を受けている、あるいは当地方の属した「文化圏」に影響を及ぼしていることが明らかな資料

イ　美術工芸分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の美術工芸に関する資料

日本美術全体の流れの上で基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の画家および俳人の書画の収集

○同上地域の武将の肖像画や合戦図などに関連する資料の収集

○同上地域の武器・武具の収集

○同上地域の寺社で保有する文化財の一括収集

○陶磁器・金工・七宝・漆工芸・染織については、年紀銘、作者銘を有するもの、時代様式を端的に備えるもの等、基準資料たりえるものの収集

○彫刻については、全国レベルでみての重要資料の収集

○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

ウ　文書典籍分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の歴史に関する資料

日本史全体の流れの上で基準となる資料

〔目標〕
○尾張の町方・村方文書など、一括資料の収集（尾張以外の尾張藩領を含む）
○尾張関係の典籍の収集（尾張の出版物・尾張に関する人物の著作など）
○名古屋市街図・地籍図の収集（尾張以外の尾張藩領の図を含み、広域図の場合は優品で価値の高い資料）
○尾張に関する文書・記録、および尾張に関係する人物の文書・記録などの収集
○尾張に所在した歴史的価値が高い資料の収集
○地域にこだわらず、古文書学上、基準的様式を具備する各時代の基本的文書の収集
○地域にこだわらず、書誌学上、重要な典籍類の収集（代表的な出版物・写本など）
○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

エ　民俗分野

〔基本方針〕
名古屋を中心とする地域の民俗に関する資料
日本民俗全体の上で基準となる資料
〔目標〕
○名古屋を中心とする地域の民俗芸能用具ならびに儀礼・信仰関係用具の収集
○民俗事象を表す写真・映像・音源などの収集
○地域的な特色を示す衣・食・住に関する資料の積極的な収集
○名古屋を中心とする地域の災害関係資料の収集
○商業に関する資料の体系的な収集
○機械化されていない諸職用具の収集（製品見本、製作工程見本の製作依頼を含む）
○農具・養蚕具・製紙用具・亜炭採掘用具・漁具については館蔵品の補完的収集
○絞りについては、海外のものも含む重点的な収集
○名古屋を中心とする地域の遊戯具・玩具・食玩の収集（製作依頼を含む）
○明治以降の産業資料のうち、時計、バイオリン、企業が製造した製造機械の収集

(2) 収集資料の概要

本年度は、受贈と調査発見により、343件13,176点の資料を収集し、美術品等取得基金所管の動産から2件2点を買い戻し（移管）した。これにより収集資料の累計は、25,668件290,337点 となった。本年は改修工事前に資料を完全待避させるため、これまで博物館資料としていなかった参考品について、今後も必要と思われるものについては調査発見資料として受け入れ手続きを行った。

寄託資料は金城文化財保護委員会所蔵品を寄贈いただくこととなり寄託解除した。また改修工事に伴い、一時的に解除、返却している資料もある。

ア 考古分野

考古分野では4件4点の資料を受贈した。

金城文化財保護委員会より、弥生土器1点、土師器1点、須恵器2点の計4点を受贈した。4件とも北区の志賀公園遺跡から出土したとされており、名古屋市内の弥生～古墳時代を知る上で重要な資料である。なお本資料は長年寄託されていたものを受贈したものである。

イ 美術工芸分野

美術工芸分野では 17 件 84 点の資料を受贈した。その多くは堀川沿いの商家・伊藤忠左衛門家（川伊藤家）に伝来した書画及び茶道具類である。また、市に移管された川伊藤家住宅を調査し、短刀などの武具類を発見し受け入れた。三重県の個人より名古屋の江戸後期の刀工、青木照之進の刀と脇指を受贈した。名古屋の刀工でもまだまだ作品を収集できていない者が多く、今後も調査を進めたい。源氏物語図屏風は建物と人物の大きさの対比が珍しい作品であり、痛みが進んでいるので修理をして活用したい。

ウ 文書典籍分野

文書典籍分野では、66 件 11,981 点の資料を受贈した。また、美術品等取得基金所管の動産から2件2点を買い戻し（移管）した。

受贈資料のうち「川伊藤家文書」（Ⅰ～Ⅲ）は、名古屋城下大船町の商家・伊藤忠左衛門家に伝来した資料である。同家は堀川沿いに位置したことから、本町の呉服商・伊藤次郎左衛門家に対比して「川伊藤家」と呼ばれた。江戸時代後期には尾

張藩の御勝手御用達となり、藩への調達金上納などの功績によって苗字の免許、所持する新田の一部に対する年貢免除などの特権が与えられた。すでに『新修名古屋市史』『愛知県史』などに引用、掲載されるなど、名古屋城下を代表する商家資料の一つとして、その価値は高く評価されている。

「酒井家文書」は、尾張西部出自の武士・坂井文助利貞（？～1608）を初代とする家に伝来した文書群である。利貞は織田信長の吏僚としてその政権を支えたことで知られる。本資料にも信長発給文書が 6 通含まれる。また、利貞が管轄した土木事業関連の指示書は、信長による交通・インフラ政策の実態を伝える他に類のない資料である。

このほか、「土器野新田堀田家資料」は美濃路沿いの旧家堀田家に伝来した資料群であり、横井也有書状（松平君山宛）など貴重な資料を含む。「尾張藩士酒井家資料」は尾張藩士の家に伝来した資料群であり、藩主からの黒印状、家系図、屋敷図など藩士としての地位に関わる基礎的な資料で構成される。

近現代資料も引き続き多く受贈した。「洋服店杵屋関係資料」「大須大門屋関係資料」は、いずれも市内で店を構えた商店に関係する資料群である。「伊藤章一関係資料」は、昭和戦前期に伊藤章一氏が撮影した写真と映像を中心とする資料群であり、名古屋城、東山公園、第三師団の凱旋など、戦前の名古屋を映した貴重な映像を含む。「レジャーニューズ」「レジャーニューズ関係資料」は、戦後名古屋で夕刊紙『名古屋タイムズ』を発行した名古屋タイムズ社が発行したスポーツ紙『レジャーニューズ』本紙と、関係する写真、フィルム等を含む資料群である。

このほか、美術品等取得基金所管の動産から、「日本図世界図屏風」「伊藤次郎左衛門家蔵書」を買い戻した。いずれも江戸時代以来、名古屋城下で呉服商を営んだ伊藤次郎左衛門家に伝来した資料である。

「日本図世界図屏風」は、一隻の屏風に日本図と世界図を描いた珍しい屏風である。シベリア付近には他の地図にはみられない地名の表記もみられる。

「伊藤次郎左衛門家蔵書」は、伊藤家に伝来した約 2,500 点におよぶ典籍類である。内容は物語、歌書、名所図会、尾張の地誌など多岐にわたり、源氏物語各巻を 1 枚の色紙に白描で描いた「源氏物語画帖」、冷泉家 13 代為綱が自筆した「古今和歌集」など貴重な典籍を多く含む。

エ 民俗分野

民俗分野では 254 件 1,105 点を受贈した。

主な資料としては、まず和蝋燭製造用具が挙げられる。これは名古屋市中村区にあった大橋商店で使われた道具類である。同店は大正ごろから平成 25 年(2013)ごろまで、和蝋燭の製造・販売を行ってきた。原材料の加工、蝋燭の整形、包装、販売までの一連の過程を示す用具が揃っている。和蝋燭の製造は名古屋を代表する伝統産業のひとつであり、その変遷を示す資料である。

名古屋市庁舎新築記念煙草セットは、昭和 8 年(1933)に行われた市庁舎落成式の参加者などに配られたと思われる、喫煙具のセットである。底面銘から日本陶器株式会社（現ノリタケカンパニーリミテド）の製造であることがわかる。洋食器メーカーらしい派手さと、和風の菊花文様が同居している。昭和戦前期の情勢を反映した意匠である。

伊勢湾台風被害状況航空写真は、名古屋木材(株)で保管されていたものである。昭和 34 年(1959)に来襲した伊勢湾台風は、この地方に甚大な被害をもたらした。本資料は被災直後に、名古屋市南区内の様子を撮影した航空写真で、非常に高精細なものである。今後は撮影者の確認など、調査・研究を進めていきたい。

(3) 「よみがえれ文化財」事業

当館が所蔵する資料の中には、劣化などのため、そのままでは展示・活用できない資料がある。そうした資料を後世に伝え、活用していくための修復などを目的として基金をつくり、市民の寄附を募り、事業を行った。

〇対象とする主な事業

・博物館資料（写真資料等）のデジタル化
・博物館資料（金属等）の保存処理
・博物館資料（絵画・文書等）の修復
・博物館資料（刀剣等）の研ぎ
・博物館資料の展示具の製作

上記のほか、資料の修復・保存・活用などを目的とする。

○本年度に実施した事業

「田中大山山車車輪」「韓信図」の修復

○令和５年度寄附実績

個人　11 名　　440,000 円
団体　 1 件　　100,000 円
計　12 件　　540,000 円

○寄附者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

堀江倫孝、福島佐千男、大島早苗、土居峻

【令和５年度名古屋市博物館資料収集状況】

	令和 5.4.1 ～ 令和 6.3.31						総合計（令和 6.3.31 現在）					
	受　贈		購　入		計		受　贈		購　入		計	
	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点
0　総　集	－	－	－	－	－	－	58	126	156	206	214	332
1　考　古	4	4	0	0	4	4	2,981	123,722	283	1,717	3,264	125,439
2　絵　画 3　彫　刻 4　工　芸	17*	84*	0	0	17	84	2,618	14,669	875	1,312	3,493	15,981
5　文　献	66*	11,981*	(2)	(2)	68	11,983	7,376	80,303	2,053	18,280	9,429	98,583
6　生　活 7　生　産 8　民　俗	254*	1,105*	0	0	254	1,105	8,969	48,658	270	1,216	9,239	49,874
9　自　然	0	0	0	0	0	0	29	128	－	－	29	128
計	341	13,174	2	2	343	13,176	22,031	267,606	3,637	22,731	25,668	290,337

* 調査発見資料を含む。

** ()は基金からの買い戻し(基金による購入資料は基金動産から市備品に移管したときに計上する。)

3　特 別 利 用

	熟覧	模写	模造	拓本	原板使用			撮　影			計
					(1)	(2)	小 計	(1)	(2)	小 計	
利用申請件数	36 件	0 件	1 件	0 件	92 件	20 件	112 件	5 件	0 件	5 件	154 件
資料件点数	1,330 件 1,442 点	0 件 0 点	1 件 1 点	0 件 0 点	268 件 284 点	44 件 46 点	312 件 330 点	13 件 13 点	0 件 0 点	13 件 13 点	1,656 件 1,786 点

(1)出版物、テレビ放送などへの掲載(使用)目的　　(2)調査研究目的

4　資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	おもな貸出資料
4月1日～ 令和6年3月31日	見晴台考古資料館	常設展 4月1日～令和5年3月31日	銅鐸形土製品（複製） 1件1点
4月1日～ 令和6年3月31日	体感！しだみ古墳群ミュージアム	常設展 4月1日～令和5年3月31日	白鳥第1号墳出土資料 はじめ7件14点
4月1日～ 令和6年3月31日	美濃加茂市民ミュージアム	常設展 4月1日～令和5年3月31日	二ツ塚遺跡出土資料のうち石匙 はじめ11件43点
4月18日～ 6月11日	石川県七尾美術館	長谷川等伯展 ～水墨の美技と、一門の俊英と～ 4月29日～5月28日	太閤花見図屏風 1件1点
6月1日～ 9月27日	長野県立美術館	葛飾北斎と3つの信濃 ―小布施・諏訪・松本― 7月1日～8月27日	煙草入れに暦図 はじめ4件4点
6月9日～ 11月30日	四日市市博物館	立原位貫 ～想像力から創造力へ～ 9月23日～11月5日	相馬の古内裏 はじめ4件4点
6月15日～ 9月15日	愛知県美術館	幻の愛知県博物館 6月30日～8月27日	人体骨格標本 はじめ45件206点
6月15日～ 10月15日	サントリー美術館	虫めづる日本の人々 7月22日～9月18日	花卉草虫図 1件1点
7月1日～ 8月31日	MIHO MUSEUM	蒔絵百花繚乱 江戸時代の名工とその系譜 7月15日～8月20日	住吉蒔絵硯箱 はじめ2件2点
8月1日～ 令和6年3月31日	①山梨県立考古博物館 ②対馬博物館 ③平城宮いざない館	発掘された日本列島2023 ①9月16日～10月29日 ②11月11日～令和6年1月8日 ③令和6年1月20日～2月11日	亀ヶ洞1号窯跡出土資料 1件10点
8月30日～ 12月28日	和歌山県紀伊風土記の丘	律令国家成立前夜 9月30日～12月3日	画文帯仏獣鏡 はじめ2件2点
9月12日～ 12月27日	サントリー美術館	激動の時代　幕末明治の絵師たち 10月11日～12月3日	ロオレンツおよびヘイステル肖像 はじめ3件3点
9月15日～ 11月7日	熱田神宮宝物館	百鏡繚乱　～咲き誇る鏡背文様の美～ 9月29日～10月24日	当世道行ぶり 三かつ半七 はじめ2件2点

9 月 19 日～ 12 月 17 日	馬の博物館	戦国武士と馬 10 月 7 日～12 月 3 日	信長記　巻八、巻十四 1 件 2 点
10 月 20 日～ 12 月 28 日	徳川美術館	将軍と尾張徳川家―政と儀礼― 11 月 11 日～12 月 15 日	徳川家康画像 はじめ 4 件 6 点
10 月 31 日～ 令和 8 年 10 月 10 日	陸前高田市立博物館	友好館提携事業の一環として 11 月 3 日～令和 8 年 9 月 30 日	考える人 1 件 1 点
11 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 31 日	名古屋城総合事務所	撮影・分析を行い、材料や制作方法を解明するため	名古屋城焼損金具 1 件 9 点
11 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日	名古屋城調査研究センター	名古屋城石垣拓本調査のため	名古屋城石垣刻印「松平土佐守山内掃部」拓本 1 件 1 点
11 月 3 日～ 12 月 31 日	静岡市美術館	NHK 大河ドラマ特別展 どうする家康 11 月 3 日～12 月 13 日	長篠合戦図屏風 はじめ 3 件 4 点
11 月 20 日～ 令和 6 年 4 月 10 日	東京国立博物館	本阿弥光悦の大宇宙 令和 6 年 1 月 16 日～3 月 10 日	黒楽茶碗　銘　時雨 1 件 1 点
12 月 10 日～ 令和 6 年 3 月 5 日	名古屋城総合事務所	家康の謎 名古屋城本丸御殿の黒木書院 12 月 23 日～令和 6 月 2 月 25 日	築城図屏風 はじめ 2 件 2 点
12 月 14 日～ 令和 6 年 3 月 29 日	体感！しだみ古墳群ミュージアム	東谷山の群集墳 12 月 19 日～令和 6 年 3 月 17 日	東谷山古墳群出土須恵器 5 件 13 点
12 月 21 日～ 令和 6 年 3 月 17 日	あま市七宝焼アートヴィレッジ	七宝の美―尾張七宝の名品たち― 令和 6 年 1 月 27 日～3 月 3 日	雲鶴文七宝花瓶 はじめ 11 件 12 点 （寄託品含む）
令和 6 年 3 月 1 日～ 5 月 24 日	大阪城天守閣	高台院 ―天下人秀吉に連れ添った伴侶― 令和 6 年 3 月 23 日～5 月 6 日	豊臣秀吉朱印状 はじめ 8 件 8 点
令和 6 年 3 月 1 日～ 令和 7 年 12 月 31 日	東京国立博物館他	法然と極楽浄土 令和 6 年 4 月 16 日～6 月 9 日	無量義経（寄託品） 1 件 1 点
令和 6 年 3 月 15 日～ 6 月 28 日	体感！しだみ古墳群ミュージアム	埴輪づくりのわざ 令和 6 年 3 月 19 日～6 月 16 日	一本松古墳出土資料 はじめ 2 件 3 点
合計	貸出先総件数　28 件		貸出資料総件点数 124 件 355 点

※分館での展示は除く

5　収集資料目録

(1) 受贈資料一覧（分類順）

分類	資料名	点数	時代
113	壺	1 点	弥生時代
114	壺	1 点	古墳時代
114	杯	1 点	古墳時代
114	円窓付壺	1 点	古墳時代
200	川伊藤家旧蔵書画類	一括	江戸時代/明治/大正/昭和
226	源氏物語図屏風	6 曲 1 隻	江戸中期
243	堀川夜討図	3 枚	江戸後期
243	梅のよし兵衛　てつち長吉　女房小梅	3 枚	江戸後期
243	源頼朝隅田川旗上着到勢揃之図	3 枚	江戸後期
271	浮世絵貼交画帖	1 冊	明治
271	日露旅順口海戦帝国海軍大勝利 万歳	6 枚	明治
271	田庄台之役 将校十一名同所に会す	3 枚	明治
271	気船乗客繁栄図	2 枚	明治
400	川伊藤家旧蔵茶道具類	25 点	江戸時代/明治/大正/昭和
482	短刀　銘兼定	1 口	室町時代
483	刀　銘寿命 附軍刀拵	1 口	昭和前期
484	刀　銘表「文政十二年己丑秋吉日彫同作」裏「青木照之進平元長」	1 口	江戸後期
484	脇指　銘表「青木照之進平元長」　裏「文政六年二月吉日」	1 口	江戸後期
485	短刀　無銘	1 口	近代
488	黒漆塗酢漿草蒔絵小サ刀拵	1 口	江戸後期
494	火縄銃　銘藤左衛門重当	1 挺	江戸後期
501	土器野新田堀田家資料	一括	江戸時代/明治/大正/昭和
501	川伊藤家文書Ⅰ	4067 点	江戸時代/明治/大正/昭和
501	川伊藤家文書Ⅱ	1564 点	江戸時代/明治/大正/昭和
501	川伊藤家文書Ⅲ	2234 点	江戸時代/明治/大正/昭和
501	林田修関係資料	99 点	昭和前期～後期
501	酒井家文書	58 点	室町時代～江戸時代中期
503	尾張藩士酒井家文書	一括	江戸時代
504	伊藤章一関係資料	2755 点	明治時代～昭和後期
504	中七商店関係資料	1 点	大正～昭和前期
504	河野鈴一郎関係資料	12 点	明治期
505	洋服店杵屋関係資料	一括	昭和
531	野崎久治士族編入関係資料	3 点	明治
531	名古屋市解職状	1 枚	昭和前期
531	名古屋市水道局領収証	2 枚	昭和後期
546	後藤祐治氏関係資料	1 点	昭和前期
572	名古屋市地図	1 枚	昭和後期
585	レジャーニューズ	96 冊	昭和後期～平成
589	毎日グラフ	3 冊	昭和後期
589	小学三年生	4 冊	昭和後期
589	鉄腕アトム	1 冊	昭和後期
590	レジャーニューズ関係資料	一括	昭和後期～平成
593	家族写真・アルバム	一括	明治/大正/昭和
593	年中行事・人生儀礼写真	一括	昭和後期・令和
593	写真アルバム	1 冊	昭和前期
593	近藤昭治写真資料Ⅱ	6 冊	昭和前期～後期
593	高級焼付写真　名古屋名所	8 枚	昭和前期
593	山本家葬儀写真資料	1 点	大正期
593	大須大門屋関係資料	929 点	昭和前期

593	伊藤千万吉関係写真資料	6点	昭和前期～後期
593	写真アルバム	1冊	昭和後期
593	出征関係写真	4枚	昭和前期
593	名古屋観光写真	15枚	昭和前期
593	名古屋観市街写真	14枚	昭和後期
593	下之一色漁業写真	3枚	昭和前期
593	漁業調査記録写真	5枚	昭和後期
593	五女子八剣社境内の力石写真	1枚	昭和前期
593	日本陸戦隊本部（日本人小学校内）写真	1枚	昭和前期
595	愛知織物株式会社絵葉書	12枚	昭和前期
595	新名古屋駅竣工記念絵葉書	2枚	昭和前期
595	大名古屋絵葉書	8枚	昭和前期
595	FINE VIEWS OF NAGOYA CASTLE	8枚	昭和前期
595	国宝建造物 恩賜名古屋城	8枚	昭和前期
595	名古屋絵葉書	8枚	昭和後期
595	青峰山絵葉書	1組	昭和後期
595	原色写真版　熊本名所　本妙寺絵葉書	1組	大正～昭和前期
595	木曽川・日本ライン碧流に巨巌連立する土田附近の景勝絵葉書	1枚	大正～昭和前期
595	（日本ライン）　犬山公園夜桜絵葉書	1枚	大正～昭和前期
595	（尾張大野風景）　夕陽絵葉書	1枚	大正～昭和前期
595	［犬山］絵葉書	1組	大正～昭和前期
595	謹賀新年　元旦　絵葉書	2枚	昭和前期
597	パンフレット「名古屋へ修学旅行」	1冊	昭和前期
597	パンフレット「名古屋」	1枚	昭和前期
597	新しく発見された童話　日本一桃太郎の誕生地	1部	昭和前期
597	和栗史蹟案内	1部	昭和前期
597	尾張二宮国幣中社大縣神社参拝の栞	1部	昭和前期
597	国幣中社真清田神社略由	1部	大正～昭和前期
597	登山みやげ　木曽名称と御嶽風景　附木曽ぶし	1冊	大正
597	八幡神社御由緒　略記	1枚	昭和前期
597	東芝電気洗濯機	1部	昭和後期
597	雑誌切り抜き「かわいいおしゃれ…　パステル・シューズ／’62年型ゼネラル冷蔵庫」	1枚	昭和後期
597	『女性自身』切り抜き「東芝電気洗濯機」	1枚	昭和後期
598	シャープテレビビラ	4枚	昭和後期
598	テレビはナショナルビラ	1枚	昭和後期
598	ナショナル電気洗濯機ビラ	2枚	昭和後期
598	ナショナル電化製品ビラ	2枚	昭和後期
598	ナショナルテレビ洗濯機　ステレオ月賦販売ビラ	1枚	昭和後期
600	脇田夫妻収集民俗コレクション15	30点	昭和後期～平成
602	酒井家生活資料	一括	江戸時代後期～昭和
602	武田家生活資料	一括	明治～昭和
610	井上家衣生活資料	一括	昭和
611	着物	1点	明治～昭和前期
611	袴	2組	明治～昭和前期
611	丹前	4領	昭和後期
611	着物	1点	昭和
612	短ジャケット	1着	昭和前期

613	おんぶ紐	1本	昭和
614	陣笠	1点	明治～昭和前期
618	鞄	1点	明治～昭和前期
618	手提げ袋	1点	明治～昭和前期
619	鯨尺	1点	昭和
619	針山くけ台	1個	昭和
625	蠅帳	1点	昭和
627	刺身皿	20点	明治～昭和前期
627	吸物椀	20点	明治～昭和前期
627	大平	1点	明治～昭和前期
627	茶津	10点	明治～昭和前期
627	鉢	2点	昭和後期
628	重箱	1組	明治～昭和前期
628	名古屋市庁舎新築記念煙草入、灰皿、マッチ入、盆	1組	昭和前期
628	コーヒーカップ	一括	明治～昭和前期
629	菓子型	5点	明治～昭和前期
629	湯呑み	5点	昭和後期
629	汽車茶瓶	5点	昭和後期～平成
629	スチール缶入りお茶	1点	平成
632	暖簾	2点	明治～昭和前期
632	幕	3点	明治～昭和前期
634	籐枕	1点	昭和
635	ぶら提灯	1点	明治～昭和前期
635	弓張提灯	2点	明治～昭和前期
635	団扇	2点	（大正～昭和前期）
636	蠅叩き	1点	昭和後期～平成
636	はたき	1点	昭和
637	旭座（中村映画劇場）外壁モルタル装飾	11点	昭和前期
640	御園座資料	10点	昭和後期
641	ひいな	1点	平成
641	五色幣束	1点	平成
641	ひいな	1点	平成
641	五色幣束	1点	平成
641	五色幣束	2点	平成
641	幣束	1点	平成
641	湯蓋	1点	平成
641	草鞋	5点	平成
641	湯ぶたさ	2点	平成
641	百綱	1点	平成
641	紙垂	3点	平成
641	ざぜち	24点	平成
641	添花幣	1点	平成
641	幣束	1点	平成
641	菰	5点	平成
641	篠笛	1点	平成
641	祓い幣	1点	平成
641	宝	2点	平成
641	添花	1点	平成
641	添花	1点	平成
643	興行幟	2点	明治～昭和前期
645	面子	129枚	昭和後期
645	シール	97枚	昭和後期
645	カード	45枚	昭和後期
645	風呂桶模型	1点	昭和後期
645	『少年』付録	12冊	昭和後期
645	『小学生画報』付録 シルバー・ホーク	1冊	昭和後期
645	『日の丸』付録　くれない頭巾	1冊	昭和後期
645	『小学三年生』付録 がんばれ豆錦	1冊	昭和後期
645	『小学四年生』付録 少年ブルーバ	1冊	昭和後期
645	『冒険王』付録　イガグリくん	1冊	昭和後期
645	『少年クラブ』付録 雷光くん	1冊	昭和後期
645	『少女付録』　あしたは土よう日！	1冊	昭和後期
645	土人形「桜天神社の鷺」	1点	（平成）
645	ポンポン船	1点	昭和後期～平成
645	樟脳船	2組	昭和後期～平成
645	野球盤	2点	昭和後期
646	国民保険体操　新ラジオ体操	1枚	昭和後期
648	蓄音器	1点	昭和前期

649	レコード盤「愛国行進曲」	1枚	昭和前期
649	レコード盤「新興児童レコード」	1枚	昭和前期
649	レコード盤「新名古屋みなと音頭／名古屋ばやし」	1枚	昭和後期
649	レコード盤「小牧ばやし／新小牧音頭」	1枚	昭和
649	レコード盤「小牧さくらの会おどり」	1点	昭和
649	レコード盤「西春音頭／西春小唄」	1枚	昭和
649	レコード盤「日本電信電話公社の歌／もしもしお早よう（ー電信電話の歌ー）」	1枚	昭和後期
651	小学卒業証	1枚	明治
651	名古屋市参事会賞状	3枚	明治
651	名古屋市白川尋常小学校教育会表賞状	1枚	明治
651	愛知県名古屋市白川尋常小学校修業証書	2枚	明治
651	名古屋市役所表彰状	4枚	明治
651	名古屋市白川尋常小学校教育会表賞状	2枚	明治
651	愛知県表彰状	1枚	明治
651	紫川尋常小学校長表彰状	1枚	明治
651	愛知県名古屋市紫川尋常小学校修業証書	3枚	明治
651	愛知県名古屋市紫川尋常小学校卒業証書	1枚	大正
651	名古屋市長表彰状	1枚	大正
651	私立愛知県淑徳高等女学校修業証書	3枚	大正
651	私立愛知県淑徳高等女学校卒業証書	1枚	大正
651	愛知女子師範学校卒業証書	1枚	大正
651	愛知県小学校教員免許状	1枚	大正
651	愛知県尋常高等小学校訓導任命状	3枚	大正
651	愛知県俸給通知書	1枚	大正
651	愛知県免職状	1枚	昭和前期
651	名古屋市小学校教育会表彰状	2枚	昭和前期
651	名古屋市中ノ町幼稚園保育証	1枚	昭和前期
651	名古屋市白川尋常高等小学校通信簿	6通	昭和前期
651	愛知県名古屋市白川尋常高等小学校卒業証書	1枚	昭和前期
651	白川国民学校教育会感謝状	1枚	昭和前期
651	名古屋市筒井尋常小学校・筒井国民学校・筒井小学校通知表	一括	昭和
651	名古屋市筒井小学校賞状	一括	昭和前期
651	感謝状	1枚	昭和前期
651	夏の生活	9冊	昭和後期
651	冬の生活	9冊	昭和後期
654	ランドセル	1点	昭和後期
672	雛人形	1式	昭和前期
673	虫送り人形	2点	平成
678	田峯田楽関係資料	36点	平成
678	幕	1張	明治
684	打掛	1点	明治～大正
693	伊勢湾台風被害状況航空写真	3枚	昭和後期
695	名古屋市職員徽章	1点	昭和後期
695	愛知師範同窓会感謝状	2枚	昭和前期
695	白川連区町内会長感謝状	2枚	昭和前期
696	内閣国勢調査員任命状	2枚	昭和前期
696	名古屋市長感謝状	2枚	昭和前期

697	軍隊手牒	1点	昭和前期
697	死亡告知書	1点	昭和後期
697	死亡告知書	1点	昭和前期
697	軍人遺族記章	1点	昭和後期
697	支那事変従軍記章	1点	昭和前期
697	応召幟	2点	明治～昭和前期
697	帝国在郷軍人会日出町班褒状	1枚	昭和前期
697	愛知県知事感謝状	1枚	昭和前期
697	長谷川家戦時資料	397点	昭和後期
697	警防団衣服	1点	昭和前期
697	陸軍認識票	1枚	昭和前期
697	砲弾破片	2点	昭和前期
697	着物	1点	昭和前期
698	金鵄勲章	1点	昭和前期
698	勲八等白色桐葉章	2点	昭和
698	勲七等青色桐葉章	1点	昭和前期
701	印半纏	8点	明治～昭和前期
705	わたしたちの万国博読本	1冊	昭和後期
705	別冊週刊読売　万国博・実用オールガイド	1冊	昭和後期
705	グラフNHK　万国博番組特集	1冊	昭和後期
705	万国博がやってくる規模も内容もケタはずれの日本万国博	1部	昭和後期
705	置物「太陽の塔」	1点	昭和後期
705	日本万国博覧会記念文鎮	1点	昭和後期
711	田植え縄	1点	昭和後期
712	トウグワ（唐鍬）	1点	昭和後期
731	魚捕り籠	1点	昭和後期
735	焼印	2点	昭和
756	縞本	1式	明治～昭和前期
756	織機	1点	昭和後期
758	足踏みミシン	1台	昭和前期
758	裁縫台	1点	昭和前期
758	カーテン用ミシン一式	1点	昭和後期
760	和蝋燭製作用具	一括	大正～平成
760	酒井彫華堂資料	一括	明治～昭和
762	轆轤	1点	昭和後期～平成
762	乳鉢・乳棒	2組	昭和後期～平成
768	福沢桃介胸像	1躯	大正～昭和前期
770	長谷川家資料	9点	明治～昭和後期
770	奥村黄花園資料一式	一括	大正～昭和前期
770	瑞穂通商店街資料一括	一括	昭和後期
773	判取袋	1点	明治～昭和前期
776	名古屋タイムズ看板	1点	昭和後期～平成
785	電話機	1台	昭和後期
785	電報送達紙	2枚	明治
794	名古屋市東区役所納税者各位お願い	1枚	昭和後期
795	国債貯金通帳	1通	昭和前期
799	衣料切符	3枚	昭和前期
799	一般用米穀類購入通牒	2通	昭和後期
799	家庭用物資購入通帳	1通	昭和前期
799	家庭用品購入通帳	1通	昭和後期

(2) 購入資料一覧

基金動産からの移管資料

分類	資　料　名	点数	時　　代
550	伊藤次郎左衛門家蔵書	1括	室町時代～明治
577	日本図世界図屏風	1隻	江戸時代前期

※基金による購入資料は、基金動産から市備品に移管したときに計上する。

6　指定・認定文化財一覧（館蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	秋草鶉図屏風	1双	江戸時代
2	工芸	魚波文瓶子	1口	鎌倉時代　瀬戸灰釉
3	書	三宝絵	1帖	平安時代　源為憲撰　保安元年(1120)書写奥書
4	工芸	太刀　銘「国泰」	1口	鎌倉時代　肥後国延寿派国泰作
5	工芸	太刀　銘「行平作」	1口	鎌倉時代　豊後国行平作
6	工芸	太刀　銘「雲生」	1口	鎌倉時代　備前国宇甘派雲生作
7	工芸	黒楽茶碗「時雨」	1口	江戸時代　本阿弥光悦作
8	書	豊臣家文書	1括	桃山時代～江戸時代初期

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	袈裟襷文銅鐸	1基	弥生時代　伝滋賀県出土
2	工芸	三角縁神獣鏡	1面	古墳時代前期　奈良県都祁村白石光伝寺裏山古墳出土
3	書	広義門院所領処分状	1幅	南北朝時代　貞和5年(1349)9月15日付　光厳上皇筆
4	工芸	阿弥陀三尊懸仏	1面	室町時代
5	絵	畳泉密竹図	1幅	江戸時代後期　山本梅逸筆
6	書	千載和歌集断簡	1幅	平安時代後期　日野切
7	考古	瓦製光背片	1点	平安時代後期　三重県伊勢市小町経塚出土
8	工芸	太刀　銘「備前国住雲次」	1口	鎌倉時代　備前国宇甘派雲次作
9	工芸	太刀　銘「景安」	1口	鎌倉時代　備前国景安作
10	工芸	太刀　折返銘「吉綱」	1口	鎌倉時代　備前国吉綱作
11	工芸	刀　無銘	1口	鎌倉時代　伝包永
12	工芸	刀　無銘	1口	南北朝時代　伝左
13	工芸	壺形土器　蓋有	2点	弥生時代前期　名古屋市北区西志賀町遺跡出土
14	工芸	鳥形鈕蓋付高脚坩	1口	古墳時代後期　伝名古屋市瑞穂区師長町出土
15	書	豊臣秀吉書状	1幅	桃山時代　おとら宛

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	魚波文四耳壺	1口	鎌倉時代後期　瀬戸灰釉　岐阜県出土
2	絵	四季花鳥図屏風	1双	江戸時代後期　山本梅逸筆
3	考古	短甲	1領	古墳時代後期　伝岡崎市出土　25点付属
4	考古	三角縁神獣鏡・六神鏡	2面	古墳時代前期　東海市兜山古墳出土
5	考古	壺	1口	弥生時代中期　岩倉市大地遺跡出土
6	考古	壺	1口	弥生時代前期　丹羽郡大口町西浦遺跡出土
7	絵	相応寺旧蔵襖絵	12面	江戸時代初期
8	絵	築城図屏風	1隻	安土桃山時代
9	絵	楽々園四季真景図巻	1巻	江戸時代後期　宋紫岡筆
10	絵	山水図押絵貼屏風	1双	江戸時代後期　中林竹洞筆
11	歴史	尾張藩領産物帳	20冊	江戸時代中期
12	工芸	三尊来迎繍仏	1幅	南北朝時代　弘浄寺伝来

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	有形民俗文化財	荒子西の畑屋敷馬道具	1式	江戸時代後期～昭和前期
2	有形民俗文化財	荒子西屋敷馬標及馬道具	1式	明治～昭和前期
3	歴史	横井也有関係資料	128点	江戸時代
4	工芸	裁断橋擬宝珠	4基	江戸時代前期
5	考古	大須二子山古墳出土品	16点	古墳時代
6	有形民俗文化財	高橋家伝来医薬器具	一括	江戸時代中期～末期
7	絵	徳川宗春戯画賛	1幅	江戸時代中期
8	絵	伊勢参宮図屏風	1隻	江戸時代前期

7　指定・認定文化財一覧（受託資料）

【国宝】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	古事記	3帖	南北朝時代　宝生院所蔵
2	書	漢書食貨志第四	1巻	奈良時代　宝生院所蔵
3	書	琱玉集	2巻	奈良時代　宝生院所蔵

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	過去現在絵因果経	1巻	平安時代　聖徳寺所蔵
2	書	七寺一切経	100帖	平安時代　七寺所蔵
		唐櫃	1合	
3	絵	騎馬武者像	1幅	室町時代　地蔵院所蔵
4	書	無住道暁筆文書	3幅	鎌倉時代　六祖偈・置文・夢想記　長母寺所蔵
5	絵	四季山水図屏風	1双	室町時代　真宗大谷派名古屋別院所蔵
6	書	樵隠悟逸墨蹟	1幅	中国元時代　友山士思宛
7	書	寸松庵色紙	3点	平安時代
8	考古	袈裟襷文銅鐸	1基	弥生時代　福井県坂井市春江町井向出土
9	絵	千手観音二十八部衆像	1幅	鎌倉時代　護国院所蔵
10	絵	聖宝像	1幅	南北朝時代　林昌院所蔵
11	工芸	短刀　銘了戒	1口	鎌倉時代　了戒作
12	絵	二河白道図	1幅	鎌倉時代　蓮光寺所蔵
13	彫刻	地蔵菩薩立像　像内納入品	一括	鎌倉時代　西光寺所蔵
14	彫刻	愛染明王坐像(像内に合子入愛染明王坐像を納める)	1躯	鎌倉時代　甚目寺所蔵

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	細形銅剣	1口	弥生時代　名古屋市守山区上志段味上島出土
2	工芸	七鈴鏡	1面	古墳時代後期　名古屋市守山区羽根古墳出土
3	工芸	経塚関係資料	8点	平安時代後期　大御堂寺所蔵
4	工芸	太刀　無銘　附拵	1口	伝来国光
5	工芸	インス茶碗	1口	江戸時代前期
(6)	工芸	(魚形土器)	(1点)	弥生時代後期　名古屋市南区桜田貝塚出土　現名古屋市指定文化財

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	織田又六画像	1幅	安土桃山時代　善光寺別院願王寺所蔵
2	考古	壺	1口	弥生時代　北名古屋市伝馬塚出土

3	絵	花鳥図	双幅	中国画　明眼院所蔵
4	絵	花鳥図	1幅	中国画　明眼院所蔵
5	絵	風神雷神図	双幅	江戸時代　狩野常信筆　明眼院所蔵
6	絵	円窓山水図屏風	1隻	江戸時代　明眼院所蔵
7	工芸	糸枠蒔絵茶箱	1合	江戸時代　明眼院所蔵
8	工芸	茶壺	1口	中国製　14～16世紀　明眼院所蔵
9	工芸	金剛鈴杵	1口	明眼院所蔵
10	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1対	室町時代　伊勝八幡宮所蔵
11	絵	弁財天像	1幅	鎌倉時代　乾坤院所蔵
12	絵	諸尊集会図	1幅	鎌倉時代　乾坤院所蔵
13	書	正法眼蔵	15冊	室町時代　乾坤院所蔵
14	絵	田中訥言画蹟	3点	江戸時代後期　釈迦院所蔵　郭公の図他
15	書	『因明三十三過記』紙背文書	24通	鎌倉時代　宝生院所蔵
16	絵	円光大師画像	1幅	南北朝時代　祐福寺所蔵
17	絵	遣迎二尊画像	1幅	南北朝時代　祐福寺所蔵
18	工芸	古萩茶碗	1合	江戸時代　明眼院所蔵
19	彫刻	如来形立像	1躯	奈良時代　祐福寺所蔵
20	書	石山切	1幅	平安時代　貫之集下断簡
21	絵	渡辺崋山手録	3冊	江戸時代後期　渡辺崋山筆

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	梵鐘	1口	江戸時代前期　水野太郎左衛門鋳造　性高院所蔵
2	絵	地蔵菩薩画像	1幅	南北朝時代　地蔵寺所蔵
3	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1個	室町時代　伊勝八幡宮所蔵
4	工芸	魚形土器	1点	弥生時代後期　名古屋市南区桜田貝塚出土　旧国認定重要美術品

【他市町村指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	愛西市指定文化財	太刀　銘「従備前尾州来兼光…」	1口	江戸時代　安政3年(1856)　鵜多須区所蔵
2	清須市指定文化財	泰亨車山車関係資料	140点	清須市西枇杷島町東六軒町町内会所蔵
3	東郷町指定文化財	書留帳	3冊	江戸時代　祐福寺所蔵
4	東郷町指定文化財	祐福寺縁起	2巻	江戸時代　祐福寺所蔵
5	東郷町指定文化財	帝鑑の図	1隻	江戸時代　祐福寺所蔵
6	東郷町指定文化財	雲版	1口	室町時代　正長2年(1429)　祐福寺所蔵
7	清須市指定文化財	西枇杷島問屋町頼朝車関係資料	7点	問屋町町内会所蔵
8	東郷町指定文化財	阿弥陀三尊来迎図	3幅	南北朝時代　祐福寺所蔵 小三尊
9	東郷町指定文化財	当麻曼荼羅	1幅	南北朝時代　祐福寺所蔵
10	東郷町指定文化財	不動明王像	1幅	室町時代　祐福寺所蔵
11	大治町指定文化財	小堀遠州書状	1幅	江戸時代　明眼院所蔵
12	大治町指定文化財	尾州海東郡馬嶋村薬師領御縄打帳　写	1綴	江戸時代　慶長13年(1608)成立　明眼院所蔵

※館蔵・受託資料ともリニューアル改修に先立ち、別施設へ退避又は所蔵者に返還中の資料を含む。

Ⅳ　管理・運営

1　博物館の魅力向上

(1) 事業の目的、効果

当館は開館後 45 年以上経過し、施設の機能更新の時期を迎えていることから、こうした機会を捉え、時代に即した名古屋市博物館に生まれ変わり、市民や来訪者により親しまれる名古屋市博物館となるための魅力向上に取り組んでいるところである。本年度は「名古屋市博物館の魅力向上基本計画」に基づき実施設計業務や仮収蔵施設の建設等を行った。

(2) 事業の経過

令和 2 年度

・「名古屋市博物館の魅力向上に係る基本構想」策定

令和 3 年度

・「名古屋市博物館の魅力向上基本計画」策定

令和 4 年度

・展示・収蔵環境等の基本設計
・博物館リニューアル改修の基本設計
・仮収蔵施設の建設
・収蔵資料等の梱包・輸送

令和 5 年度

・展示・収蔵環境等の実施設計
・博物館リニューアル改修の実施設計
・仮収蔵施設の建設
・収蔵資料等の梱包・輸送

(3)　収蔵資料データベースの構築

収蔵資料に関する情報や画像を一元的に管理するとともに、館蔵品の目録情報と画像をインターネット上で公開するため、名古屋市博物館資料システムを構築した。

本システムは、資料に関する情報や画像を職員が管理するための管理システムと、インターネットを通して館蔵品の目録情報や画像を広く公開するための公開システムから構成される。

管理システムは館蔵品、寄託品、調査預り資料、調査記録、図書の5種類のデータベースから成る。公開システムは、上記 5 種類のデータベースのうち、館蔵品データベースから抽出した目録情報と画像を、インターネットを通じてだれでも検索・閲覧でき、本年 10 月 1 日より公開している。

令和5年度末時点で本システムに登録された資料は 206,236 件、画像ファイル等（資料カードを含む）は 255,031 件である。

(4)　収蔵資料のデジタル化

館蔵の山田芳写真資料フィルム 8,066 件 12,409 点と、中村義郎写真資料のフィルムおよびスライド 3 件 290 点をクリーニングの上、スキャニングしてデジタル化した。

(5)　休館セレモニー

リニューアル休館前の最終日において、市民や来館者と一緒に博物館のこれまでをふりかえり、リニューアル後の新たな博物館への期待感を共有するセレモニーを 1 階ロビーにて開催した。

9 月 30 日　16 時～17 時　参加者 350 人

(6)　リトアニアのゆうべ

名古屋ゆかりの杉原千畝が命のビザを発給する舞台となったリトアニア共和国のことを知っていただく機会として、国際交流的なイベントを行いたいという地域のニーズを踏まえ、前庭やプロムナードを中心に地元商店街等の協力を得て開催した。

11 月 4 日　16 時～18 時 30 分　参加者 150 人

(7)　ロダン「考える人」館外展示

友好館提携事業の一環として陸前高田市立博物館にオーギュスト・ロダン作「考える人」を貸し出した。本年 11 月 3 日に同館にて受入式が開催され、令和 8 年（2026）9 月 30 日までを目途に当館のリニューアルオープンで必要となるまで展示される予定である。

2　みんなの博物館応援基金

当館において開催する事業の充実や設備・備品更新をすることで施設の魅力をアピールするため、市民の寄附を募った。

(1) 本年度の活用実績

調査研究用書籍購入、公用車のリース

(2) みんなの博物館応援事業寄附金

○本年度寄附実績

個人	9名	1,174,108円
団体	8件	824,569円
計	17件	1,998,677円

○寄附者(公開に同意の方のみ、受付順、敬称略)

福島佐千男、青木良史、山口鞆子、佐久間洋一

分　　館

Ⅰ　名古屋市蓬左文庫

1　閲　　覧

尾張徳川家の旧蔵書を中心に和漢の優れた古典籍、古地図、絵図などを所蔵する公開文庫として閲覧に供した。

閲覧日数　299 日
閲覧室総利用者数　5,219 人
閲覧冊数　12,472 冊
レファレンス　331 件
（窓口 192 件　電話 105 件　文書 34 件）

2　展　　示

尾張徳川家の伝来品等により、近世武家文化の魅力を世界に向けて発信するため、徳川美術館と連携した展示を行った。

(1) 特別展

観覧料　一　般　1,600 円　　高大生　800 円
小中生　　500 円
徳川美術館との共通料金

ア 夏季特別展「徳川家康−天下人への歩み−」

会　　期　7 月 23 日～9 月 18 日（開室日数 51 日）
会　　場　蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、読売新聞社、（後援）NHK 名古屋放送局
観覧者数　38,712 人
展示意図　徳川家康の波乱の生涯を歴史史料などから辿るとともに、駿府御分物（家康の遺産）を中心に、軍事・政治・学問・芸能など、様々な側面に焦点を当て、家康像を紐解いた。
展示件数　91 件
印 刷 物　ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

イ 秋季特別展「人間讃歌－江戸の風俗画－」

会　　期　9 月 24 日～11 月 5 日
（開室日数 37 日）
会　　場　蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、中日新聞社、日本経済新聞社
観覧者数　29,102 人
展示意図　戦国の乱世が終わり、泰平の世が到来した江戸時代、現世を謳歌する人々の姿を描いた風俗画が数多く登場した。人を主題とした風俗画の名品を展示し、その普遍的かつ魅力あふれる世界を紹介した。
会　　場　蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
展示件数　64 件
印 刷 物　ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

(2) 企画展

観覧料　一　般　400 円（1,600 円）
（オは 1,400 円）
高大生　300 円（800 円）
小中生　200 円（500 円）
（ ）は徳川美術館との共通料金

ア「読み解き 近世の書状」

会　　期　2 月 4 日～4 月 2 日
（開室日数 50 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
観覧者数　2,369 人（4 月 1 日～4 月 2 日）
37,955 人（通期）
展示意図　信長・秀吉・家康をはじめとする近世の人びとの書状を展示し、書状からうかがえるエピソードや書き手の人柄などを紹介した。
展示件数　48 件
印 刷 物　ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

イ「能の世界 −神・男・女・狂・鬼− 」

会　　期　4 月 15 日～5 月 28 日
（開室日数 38 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
入場者数　28,593 人
展示意図　日本の伝統芸能である能は、600 年の歴史を刻んだ舞台芸術である。能演目の 5 つの分類である〈神・男・女・狂・鬼〉をテーマに能面・能装束を紹介した。

展示件数　59 件
印 刷 物　ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

ウ「極める！江戸の鑑定」

会　　期　6 月 3 日～7 月 17 日（開室日数 39 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
観覧者数　24,347 人
展示意図　　江戸時代には、刀剣や書籍・絵画など、それぞれの分野で美術品の真贋や価値を評価する「鑑定」が行われていた。作品と折紙・極札・箱書といった鑑定の証から、鑑定の様相に迫った。
展示件数　62 件
印 刷 物　　ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

エ「尾張藩と木曽山 –徳川義親のまなざし– 」

会　　期　11 月 11 日～12 月 15 日(開室日数 30 日)
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
観覧者数　23,795 人
展示意図　　徳川美術館の創設者であり 19 代当主の徳川義親が、尾張藩が管理・運営した木曽山の研究を志し、徳川林政史研究所を開設して 100 周年を迎えた。義親の木曽山研究の歩みや収集した数々の史料を紹介した。
展示件数　68 件
印 刷 物　ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

オ「うるわしの古筆」

会　　期　令和 6 年 1 月 4 日～1 月 28 日
（開室日数 22 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、毎日新聞社
観覧者数　9,470 人
展示意図　　古筆とは、狭義には、平安・鎌倉時代の貴族がしたためた歌集などを指す。重之集、名家家集切など尾張徳川家伝来品から、寄贈の石山切や関戸本古今和歌集切など、古筆の名品の数々を紹介した。
展示件数　90 件
印 刷 物　ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

カ「ひなを楽しむ –旧家のひな飾り– 」

会　　期　令和 6 年 2 月 3 日～4 月 3 日
（開室日数 52 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
観覧者数　35,586 人（3 月 31 日まで）
展示意図　　江戸時代から昭和に至るまでの旧家で飾られた様々なお雛さまを紹介した。大名家・尾張徳川家伝来の雛とは趣の異なる、素朴な中に親しみを感じさせてくれる旧家の桃の節供をお楽しみいただいた。
展示件数　22 件
印 刷 物　ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

3　教育普及

(1) 講演会

10 月 25 日「伊藤満作家資料の魅力」
講　師　米澤貴紀氏
（名城大学准教授）
50 人
会　場　徳川園ガーデンホール
令和 6 年 1 月 24 日「銅人腧穴鍼灸図経
～拓本の表と裏を読み解く」
講　師　井上充幸氏
（立命館大学教授）
50 人
会　場　徳川園ガーデンホール

(2) 特別展記念講演会

○7 月 30 日「家康と天下」
講　師　藤井譲治氏
（石川県立歴史博物館館長）
80 人
会　場　徳川美術館講堂
○8 月 19 日「服飾から見る徳川家康」
講　師　福島雅子氏
（学習院女子大学准教授）
会　場　徳川美術館講堂
80 人
○9 月 24 日「人間模様の好奇心」
講　師　対談：出光佐知子氏・松本郁代氏
会　場　徳川美術館講堂
80 人

(3) 講座（瑞穂生涯学習センターとの共催）

2月6日「なごや学講座：徳川園の魅力
～蓬左文庫のあゆみ～」
講　師　星子桃子（蓬左文庫学芸員）
24人
会　場　蓬左文庫講座室

(4) 初心者向けミニ講座

○7月8日「蓬左文庫の魅力～歴史と蔵書～」
講　師　鳥居和之氏（大須文庫長）
17人
会　場　蓬左文庫講座室

○11月26日「青窓紀聞の面白い記事
～石塔磨の流行～」
講　師　羽賀祥二氏（名古屋大学名誉教授）
25人
会　場　蓬左文庫講座室

○3月7日「尾張藩士のご先祖調べ、
何から紐解けばよい？」
講　師　松村冬樹氏
（元名古屋市博物館学芸員）
30人
会　場　蓬左文庫講座室

(5) 蓬左文庫古書市

10月28日～11月5日　1,353人
会　場　蓬左文庫旧書庫
（講座室・エントランスホール）
主　催　名古屋市蓬左文庫
協　力　名古屋古書籍商業協同組合

(6) 連携事業

徳川園山車揃え

6月4日
主　催　徳川園・徳川美術館・蓬左文庫・東区役所他
4,000人

「歩こう文化のみち」実行委員会との連携

11月3日～26日
クイズラリー他　431人
主　催　歩こう文化のみち実行委員会
（事務局：東区役所）

(7) 団体見学等

大学生等の団体を受け入れ、解説を行った。
名城大学、愛知県立大学、金城学院大学、愛知大学、筑波大学、瀬戸市立南山中学校、志段味中学校、アップビートインターナショナルスクール、徳川林政史研究所、半田市博物館友の会、東区文化のみちガイドボランティアの会
11件161人

4　調査研究

(1) 名古屋叢書四編『青窓紀聞　巻15～巻18の編集

尾張名古屋の歴史資料を活字化し、市民の調査研究を支援するため、昭和34（1959）年から刊行を始めた『名古屋叢書』の四編として、第三冊目『青窓紀聞　巻15～巻18』を編集した。

(2) デジタル版名古屋叢書『金鱗九十九之塵』の発行

名古屋叢書(第6巻～第8巻)として刊行された「金鱗九十九之塵」全3冊本のデータをデジタル化し発行した。

(3) 「蓬左」の発行

蓬左文庫の蔵書を市民にわかりやすく紹介するため、広報誌「蓬左」を発行した。

「蓬左」No.105
- 『銅人経』拓本を探る⁉ ①
- のぞいてみよう、名工のお仕事　1
- 俳諧懐紙と千鳥塚（前）
- 長久手之図

「蓬左」No.106
- 『銅人経』拓本を探る⁉　②
- のぞいてみよう、名工のお仕事　2
- 俳諧懐紙と千鳥塚（中）
- 水甕−「重之集」を中心に

(4) 共同研究活動

蓬左文庫資料にかかる学芸員との共同研究
- 伊藤満作家家資料調査チーム（名城大学研究者はじめ）
- 「銅人腧穴鍼灸図経」調査チーム（立命館大

学研究者はじめ）　332 件（40,780 枚）

・蓬左文庫典籍研究会（愛知大学研究者はじめ）

5 出 版 物

「蓬左」No.105　A4 判　8 頁　2,000 部（無料）

「蓬左」No.106　A4 判　8 頁　2,000 部（無料）

「年間行事予定」　A4 判　6,000 枚（無料）

6 特 別 利 用

原板使用（掲載）	108 件 267 点
原板使用（その他）	40 件　76 点
熟覧	23 件　71 点
撮影	1 件　1 点
合計	172 件 415 点

7 複　　写

8 資 料 点 数

資料総点数　122,079点

（内訳）

・旧蓬左文庫資料　64,845点

江戸時代から名古屋市移管（昭和25年）までに収集された尾張徳川家旧蔵書

・名古屋市蓬左文庫収集資料　56,905点

名古屋市移管以降の収集資料

・令和5年度受贈資料

服部冨雄旧蔵書　1件1点

・名古屋市蓬左文庫受託資料　328点

9 資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	おもな貸出資料
3月13日-6月19日	斎宮歴史博物館	花愛づる人々ー歌と宴とー 3月26日-5月14日	菅家文草 はじめ　3件5点
4月1日-8月31日	三井記念美術館・岡崎市美術博物館	NHK大河ドラマ特別展　どうする家康 三井記念美術館：4月15日-6月11日 岡崎市美術博物館：7月1日-8月20日	大蔵一覧集 はじめ　1件2点
5月29日-7月18日	徳川美術館	よそおいの美学 6月3日-7月17日	都風俗化粧伝 はじめ　2件2点
7月8日-9月17日	岐阜関ケ原古戦場記念館	忍者ー嘘か真かー 7月15日-9月10日	用間伝解口伝書 はじめ　6件6点
9月1日-3月31日	名古屋市博物館（京都府京都文化博物館）	もしも猫展 9月23日-11月12日	寿狐の嫁入 はじめ　12件18点
9月1日-12月15日	神奈川県立金沢文庫	廃墟とイメージ―憧憬、復興、文化の生成の場としての廃墟―　9月29日-11月26日	源氏物語 河内本 はじめ　2件10点
9月20日-12月15日	岐阜関ケ原古戦場記念館	“英傑”家康の本質 10月3日-11月26日	源平盛衰記 はじめ　3件6点
9月23日-11月20日	彦根城博物館	大名と菓子―百菓繚乱― 10月7日-11月6日	御菓子見本 はじめ　5件6点
10月3日-12月8日	石川県立歴史博物館	御殿の美 10月14日-11月26日	帝鑑図説 はじめ　2件7点
10月24日-12月15日	豊橋市二川宿本陣資料館	瓦版展 11月3日-12月10日	鶏肋集 はじめ　1件8点
11月6日-12月16日	徳川美術館	徳川林政史研究所開設100周年記念特別展 将軍と尾張徳川家―政（まつりごと）と儀礼― 11月11日-12月15日	江戸城御殿之図 はじめ　3件3点
2月20日-5月17日	名古屋城　西の丸御蔵城宝館	守山の御寺 大森寺の宝物 3月5日-5月7日	大森寺山絵図 はじめ　5件5点
合計	貸出先件数 12件		貸出資料件点数　45件78点

10　指定文化財一覧（所蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	続日本紀	30巻 付10巻	鎌倉時代　金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
2	書	侍中群要	10巻	鎌倉時代　嘉元4年（1306）北条貞顕筆 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
3	書	斉民要術	22巻	鎌倉時代 文永11年（1274）北条実時奥書 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
4	書	源氏物語（河内本） 付 近衛信尹筆者極 古筆了佐筆者目録	23冊 付2巻	鎌倉時代　正嘉2年（1258）奥書 金沢文庫旧蔵
5	書	論語集解	10冊	鎌倉時代　元応2年（1320）奥書
6	書	宋版太平聖恵方	24冊 付29冊	中国宋時代（13世紀）刊 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
7	書	朝鮮版高麗史節要（銅活字本）	35冊	李氏朝鮮　景泰4年（1453）刊

【登録有形文化財(建造物)】

蓬左文庫旧書庫

平成 26 年(2014)、黒門・脇長屋など、徳川園内の建造物とともに登録有形文化財(建造物)に登録された。旧書庫は、明治 33 年(1900)に建築された旧尾張徳川家大曽根邸の土蔵を、昭和 10 年(1935)に移転改築したもので、現在は蓬左文庫エントランスとして使用している。

【ユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）】

朝鮮通信使に関する記録

平成 29 年（2017）10 月、日韓合計 111 件 333 点（日本 48 件 209 点、韓国 63 件 124 点）の「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界記憶遺産（世界の記憶）」に登録された。この中には蓬左文庫が所蔵する下記資料が含まれている。

朝鮮国三使口占聯句　　1 枚　江戸時代・天和 2 年（1682）
甲申韓人来聘記事　　1 冊　江戸時代・明和元年（1764）
朝鮮人御饗応七五三膳部之図　1 冊　江戸時代・文化 8 年（1811）
朝鮮人物旗仗輿衛之図　　1 巻　江戸時代・19 世紀

Ⅱ　名古屋市秀吉清正記念館

1　展　示

(1) 常設展

豊臣秀吉・加藤清正に焦点を当て、あわせて彼らが生きた時代を概説している。館蔵資料を中心とし、6回の展示替えを行った。

開室日数　285日
観 覧 料　無料
観覧者数　28,743人

(2) 特別陳列「桶狭間の戦い」

会　　期　10月7日～11月23日　(開室日数40日)
観 覧 料　無料
観覧者数　5,913人
展示意図　　合戦に至るまでの経緯や決戦直前の桶狭間周辺の様子、古戦場のある地元での戦死者への追悼の思いなども交えて、名古屋に伝わった資料を中心に桶狭間の戦いの全体像を紹介した。
展示件数　21件
印 刷 物　ポスターA2判、チラシA4判、目録A3二つ折り

(3) 特集展示、パネル展

特別展示室の活用を図るとともに常設展示を補完するため、以下の展示を行った。観覧料無料。

ア　特集展示「地図を楽しむ」

会　　期　3月4日～5月28日（開室日数71日）
観覧者数　4,362人（4月1日から5月28日まで）
　　6,427人（通期）
展示意図　　合戦や築城技術を学ぶための地図や桃山から江戸時代初期に広まった日本地図などの持つ豊富な情報を、製作目的や時代背景とともに紹介した。

イ　パネル展「尾張の城」

会　　期　6月10日～7月9日（開室日数25日）
観覧者数　2,139人
展示意図　　名古屋市外の尾張部に残る多数の戦国時代の城から、歴史上重要なもの、遺構の見学がしやすいもの、公園として整備されたものを選んで紹介した。

ウ　夏休み特集展示「太閤記の世界」

会　　期　7月21日～9月3日　(開室日数37日)
観覧者数　3,914人
展示意図　　夏休みの小中学生向け展示。挿絵入りの『太閤記』に書かれた、秀吉の有名な逸話を抽出して紹介した。

エ　パネル展「現存12天守」

会　　期　12月9日～令和6年2月12日（開室日数50日）
観覧者数　5,578人
展示意図　　江戸時代に建造された貴重な木造天守の個性を、明治以降現在までの、各天守個別の文化財保存活動の地元努力と絡めて紹介した。

オ　パネル展「尾張に残る秀吉と清正の足跡」

会　　期　令和6年2月24日～5月19日（開室日数71日）
観覧者数　2,576人（3月31日まで）
展示意図　　秀吉と清正の生まれ故郷尾張に残る生誕地の言い伝えなどを、石碑などで名古屋を中心に紹介した。

2　教育普及等

(1) 夏休み事業

「夏休み自由研究　戦国武将にクイズで挑戦」

常設展、特集展示を観覧しながら戦国時代の歴史に親しめるよう、小中学生を対象にクイズラリーを行った。

7月21日～8月31日　　311人

(2) 太閤花見茶会　お楽しみコーナー

「ひでよっしーからの挑戦状」

中村区役所企画経理室との連携事業。ひでよっしー(「太閤秀吉功路」のマスコットキャラクター)を設置した施設を巡るウォーキングを開催し、歴史散策の機会を提供した。

4月2日　　318人

3　特別利用

利用件数　24件

利用資料数

原板使用（掲載）	34件	34点
原板使用（その他）	2件	2点
熟覧	1件	1点

4　資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名）・会期	貸出資料
9月29日 ～11月26日	岐阜市歴史博物館	「天下統一　-信長・秀吉・家康と岐阜-」 10月7日～11月19日	色々威二枚胴具足
9月22日 ～12月12日	馬の博物館	「戦国武士と馬」 10月7日～12月3日	豊臣秀吉朱印状

5　資料収集一覧

分類	資料名	数量	時代
絵画	地震太功記	1枚	近代
絵画	慶長四年豊臣秀頼公創立豊国神社之図	1枚	明治
工芸	加藤清正像	1躯	昭和後期
文書典籍	新曲　地震加藤	1冊	大正13年
文書典籍	五弦琵琶之曲　地震加藤	1冊	大正12年
その他	レコード「歌舞伎劇　地震加藤」	1枚	昭和前期
その他	レコード「歌舞伎名舞台集　盛綱陣屋・地震加藤」	1枚	昭和後期
その他	絵葉書・絵葉書袋	593点	明治～昭和
その他	中村線開通記念端書	1冊	大正2年
その他	名古屋万歳ビルヂング新築落成記念絵葉書	1冊	大正13年
その他	中村公園写真帖	1冊	明治43年
その他	愛知県写真帖	1冊	大正2年
その他	濃尾大震災写真帖	1冊	昭和6年
その他	大名古屋現代風景	1冊	昭和8年
その他	中村パラダイス遊園地	1枚	昭和3年
その他	中村温泉パラダイス新築工事平面図・正面図	1枚	昭和3年
その他	名古屋遊覧双六	1枚	昭和7年
その他	名古屋地形図	1枚	明治20年
その他	熱田地形図	1枚	明治26年
その他	名古屋東部地形図	1枚	明治26年
その他	下之一色村地形図	1枚	明治26年
その他	名古屋西部地形図	1枚	明治31年

その他	枇杷島地形図	1 枚	明治 31 年
その他	名古屋南部地形図	1 枚	昭和 4 年
その他	名古屋北部地形図	1 枚	昭和 4 年
その他	最新詳細名古屋市実測全図	1 枚	明治 37 年
その他	名古屋市市街明細地図	1 枚	明治 42 年
その他	名古屋市実測図	1 枚	明治 43 年
その他	名古屋市全図	1 枚	大正 4 年
その他	名古屋市街全図	1 枚	大正 14 年
その他	名古屋市街全図	1 枚	昭和 7 年
その他	名古屋市街全図	1 枚	昭和 9 年
その他	名古屋市街全図	1 枚	昭和 12 年
その他	大名古屋市街全図	1 枚	昭和 11 年
その他	大名古屋全図	1 枚	昭和 12 年
その他	名古屋市西区最新地図	1 枚	昭和 10 年
その他	名古屋市中区最新地図	1 枚	昭和 12 年
その他	明治二十一年名古屋近傍図	1 枚	大正復刻か
その他	愛知県管内隣県接続地方図	1 枚	大正か
その他	名古屋都市計画街路及運河附区画整理並耕地整理進捗図	1 枚	大正 15 年
その他	東宿土地区画整理組合図	1 部	昭和 2 年ごろ
その他	名古屋市中村土地区画整理組合地区確定図	1 枚	昭和 13 年
その他	名古屋市則武耕地整理組合地区仮交付図	1 枚	昭和 12 年以降
その他	名古屋市則武耕地整理組合地区確定図	1 舗	昭和 12 年以降
その他	名古屋市栄生土地区画整理組合地区確定図	1 舗	昭和 12 年以降
その他	名古屋市中村線土地区画整理組合地区確定図	1 舗	昭和 12 年以降
その他	名古屋案内	1 冊	明治 43 年
その他	太閤山常泉寺略縁起	1 綴	明治～大正
その他	名古屋電車キップ	20 枚	大正～昭和
その他	若松屋商店引札	1 枚	近代
その他	中部日本観光鳥瞰図	1 部	昭和前期
その他	大規模パラダイスの案内つき書状	1 枚	昭和 3 年ごろ
その他	中川運河案内	1 部	昭和 5 年
その他	大名古屋	1 冊	昭和 8 年
その他	名古屋観光案内	1 部	昭和 12 年
その他	歓楽の名古屋	1 冊	昭和 12 年
その他	名古屋	1 部	昭和 12 年以降
その他	名古屋の名所旧蹟	1 冊	昭和 15 年
その他	防空資材交付の件につき通知	1 枚	昭和 19 年

6　資料収集状況

総合計（令和6.3.31現在）						
	受贈		購入		計	
	件	点	件	点	件	点
絵画	45	53	79	120	124	173
工芸	27	27	24	26	51	53
文書典籍	110	343	67	254	177	597
その他	78	653	3	3	81	656
計	203	1,076	173	403	433	1,479

7　指定文化財一覧（館蔵資料）

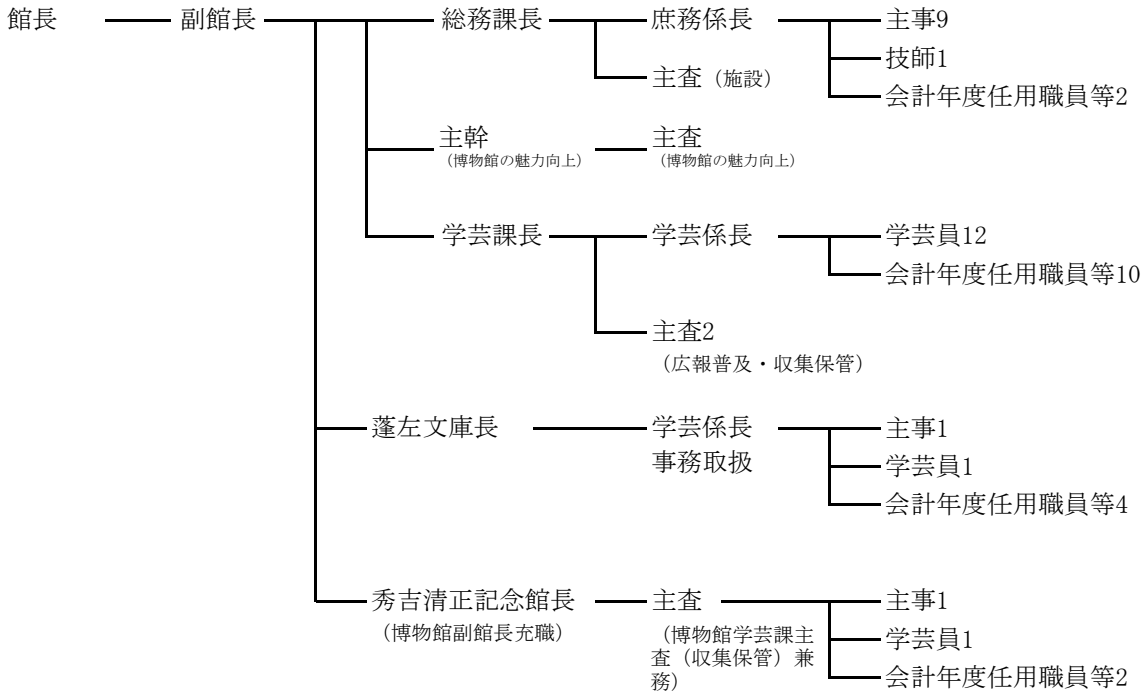
【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	歴史	兼松家資料	40点	室町時代後期～江戸時代中期
2	歴史	近江木下家資料	39点	安土時代～江戸時代後期

機　　構

（令和6年3月31日現在）

〇組織



〇博物館職員

館 長	小林　史郎
副館長	木村　広聖
総務課長	原田　俊治
主幹(博物館の魅力向上)	竹川　修
庶務係長	川口　義宏
主査(施設)	島田　嶺
主査(博物館の魅力向上)	時田　美里
主　事	吉田　千秋
	新家　論子
	金岡　友香
	戸田　真梨子
	島山　将來
	森下　暢之
	飯田　聡
	山本　麻由
	山本　耕輝
技　師	井藤　貴康
再任用	伊神　敏弘
会計年度任用職員	川井　賢人
学芸課長	瀬川　貴文
学芸係長	武藤　真
主査(広報普及)	津田　卓子
主査(収集保管)	山田　伸彦

学芸員	小西　恒典
	塚原　明子
	岡村　弘子
	木村　慎平
	佐野　尚子
	横尾　拓真
	鈴木　雅
	羽柴　亜弥
	天野　卓哉
	冨田　航生
	藤原　吉希
	島村　桂子
臨時的任用職員	中村　文香
	山口　優海(R5.6.1～)
再任用職員	坂野　利光
会計年度任用職員	白山　由華子
	亀井　久美子
	加藤　千沙
	鵜尾　三四郎
	児玉　実可子
	坪倉　ひとみ
	東條　孝(R5.10.1～)

〇蓬左文庫職員

文庫長	橘　弘子
学芸係長事務取扱	橘　弘子
主　事	中川　めぐみ
学芸員	星子　桃子
再任用職員	酒井　喜代枝
	坂東　彰
	安田　万希子
会計年度職員	井上　善博

〇秀吉清正記念館職員

館長（博物館副館長充職）	
	木村　広聖
主査（博物館学芸課主査（収集保管）兼務）	
	山田　伸彦
主　事	近藤　良江
学芸員	加藤　和俊
再任用職員	福井　雅浩
会計年度職員	粕谷　亜矢子

〇名古屋市博物館協議会委員（◎会長、●副会長）順不同

名古屋市立諏訪小学校長	吉田　七重
●金城学院大学学院長補佐	長屋　頼子
名古屋市地域女性団体連絡協議会副会長	杉本　久美子
徳川美術館館長	徳川　義崇
熱田神宮宝物館館長	多賀　顕
名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	中江　真理子
公募委員	安河内　昭彦
日本放送協会名古屋拠点放送局長	吉野　真史
中日新聞社名古屋本社事業局次長	古田　真一
愛知教育大学学長補佐	真島　聖子
名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	小山　真人
◎愛知県立大学教授	丸山　裕美子
東朋テクノロジー㈱取締役社長	富田　英之
名古屋市博物館資料委員	塩村　耕
名古屋市障害者団体連絡会会長	橋井　正喜
名古屋市立大学医学部医学科	横田　千咲子

〇名古屋市博物館資料委員　順不同

考　古

愛知淑徳大学非常勤講師	
前名古屋市文化財調査委員会委員長	赤羽　一郎
南山大学人文学部准教授	上峯　篤史

美術工芸

立命館大学衣笠綜合研究機構客員研究員	源城　政好
桑名市博物館歴史専門官	大塚　由良美
掛川市ステンドグラス美術館長	日比野　秀男
愛知県銃砲刀剣類登録審査委員	青山　篤志

文書・典籍

名古屋大学名誉教授	羽賀　祥二
名古屋大学文学部・大学院人文学研究科教授	塩村　耕

民　俗

愛知県立旭丘高等学校教諭	服部　誠
愛知教育大学理事・副学長・附属図書館長	野地　恒有

〇秀吉文書集編集委員（◎委員長、●副委員長）順不同

◎名古屋大学名誉教授	三鬼　清一郎
●石川県立歴史博物館長	藤井　譲治
大阪城天守閣学芸主幹	跡部　信
椙山女学園大学名誉教授	加藤　益幹
九州大学比較社会文化研究院教授	中野　等
中京大学文学部名誉教授	播磨　良紀
三重大学教育学部教授	藤田　達生
前京都橘大学非常勤講師	藤田　恒春
東京大学史料編纂所教授	山口　和夫

名古屋市博物館協議会開催状況

日　　時	場　　所	議　　題
第91回定例会 12月19日	名古屋市博物館 展示説明室	・令和4年度事業概要について ・令和4年度決算について ・令和5年度事業中間報告について ・名古屋市博物館のリニューアル改修について
第92回定例会 3月25日	名古屋市博物館 展示説明室	・令和5年度事業中間報告について ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度予算 ・博物館のリニューアル改修等について

予　算

○名古屋市博物館（本館）

（単位：千円）

展観事業費	普及費	資料費	管理費	職員費	博物館リニューアル改修の設計等
常設展運営費　1,856	教育普及費　2,530	調査研究費　1,223	事務・施設管理費　165,845	職員費　21,322	博物館リニューアル改修の設計等　791,776
企画展等　2,063	その他　190	資料購入費　6,000			
共催展費　36,474		資料収集データベースの構築　28,000			
		文化財修復・保存　5,584			
		その他　2,862			
40,393	2,720	43,669	165,845	21,322	791,776
				計	1,065,725

○分　館

蓬左文庫			秀吉清正記念館		
展観事業費	管理費	職員費	展観事業費	管理費	職員費
62,011	38,776	16,645	1,349	4,835	7,640
		合計　117,432			計　13,824

総　　計 （本館・分館総合計）
1,196,981

名古屋市博物館利用状況

1　特別展

（単位:人）

	有料											無料													計
	個人				団体				身体障害者手帳等			個人					身体障害者手帳等				招待券等	団体			
	一般	高齢者	高大生	小中生	一般	高齢者	高大生	小中生	一般	高大生	小中生	一般	高齢者	高大生	小中生	乳幼児	一般	高大生	小中生	介護者		一般	高大生	小中生	
Ⅰ	1,467		81	165	25		45		132			9		230							877				3,031
Ⅱ	44,398		2,718	8,101	25		17		4,065	135	484	93		1,465							9,466				70,967
計	45,865		2,799	8,266	50		62		4,197	135	484	102		1,695							10,343				73,998

		開始	終期	日数
Ⅰ	特別展　The　名古屋市博物館	4/29	6/11	37
Ⅱ	特別展　水木しげるの妖怪　百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～	7/15	9/24	61

2　常設展

（単位:人）

月	有料						無料											団体件数	計
	個人			団体			個人			身体障害者手帳等			サポーター制度	招待券等	団体				
	一般	高齢者	高大生	一般	高齢者	高大生	一般	高大生	小中生	一般	高大生	介護者			一般	高大生	小中生		
4	599	99	39	0	0	0	55	80	203	57	0	26	22	15	0	0	0	0	1,195
5	910	70	63	0	0	0	58	175	149	32	0	16	4	170	10	0	111	3	1,768
6	666	54	53	0	0	0	34	119	95	59	0	32	3	206	3	0	156	4	1,480
7	4,710	81	338	0	0	0	288	271	1,532	92	2	80	8	245	0	0	6	4	7,653
8	9,956	98	902	0	0	0	718	318	4,014	94	4	77	4	654	2	9	15	0	16,865
9	8,481	161	485	0	0	0	743	340	1,571	111	0	56	11	1,196	0	0	0	0	13,155
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	25,322	563	1,880	0	0	0	1,896	1,303	7,564	445	6	287	52	2,486	15	9	288	11	42,116

※リニューアル改修に伴う休館：10月1日～

3　月別入場者数

(1) 名古屋市博物館

（単位：人）

月	開館日数	常設展	ビデオコーナー	触れてみるコーナー	収蔵品展	特別展企画展等	共催展	ギャラリー	講堂	展示説明室	体験学習室	ナイトミュージアム	歴史体験セミナー	計	累計
4	25	1,195	122	464	0	0	193	811	20	209	0	0	0	3,014	3,014
5	25	1,768	207	536	0	0	1,798	0	162	196	0	0	52	4,719	7,733
6	25	1,480	218	482	0	0	1,040	0	150	82	0	0	0	3,452	11,185
7	25	7,653	497	2,008	0	0	14,349	0	70	150	0	0	2,405	27,132	38,317
8	27	16,865	879	3,662	0	0	29,910	0	0	79	0	0	7,763	59,158	97,475
9	25	13,155	792	2,977	0	0	26,708	0	400	59	0	0	5,132	49,223	146,698
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146,698
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146,698
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146,698
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146,698
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146,698
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146,698
計	152	42,116	2,715	10,129	0	0	73,998	811	802	775	0	0	15,352	146,698	

※リニューアル改修に伴う休館：10月1日～

(2) 蓬左文庫

（単位：人）

月	展示室開室日数（日）	有料区域分 展示室 共通券	有料区域分 展示室 単独券	展示室総入館者数(a)	閲覧室開室日数（日）	無料区域部分 閲覧室	無料区域部分 エントランスホールのみ	ｴﾝﾄﾗﾝｽ総入館者数(b)	計(a+b)	累計
4	16	10,380	26	10,406	26	136	2,480	2,616	13,022	13,022
5	24	20,520	36	20,556	26	634	1,953	2,587	23,143	36,165
6	24	13,591	11	13,602	26	395	1,765	2,160	15,762	51,927
7	22	15,755	0	15,755	26	375	1,277	1,652	17,407	69,334
8	28	20,126	0	20,126	28	355	1,442	1,797	21,923	91,257
9	22	17,151	0	17,151	26	371	1,438	1,809	18,960	110,217
10	26	20,366	0	20,366	26	506	1,961	2,467	22,833	133,050
11	22	21,111	15	21,126	26	559	2,232	2,791	23,917	156,967
12	13	7,816	14	7,830	13	251	696	947	8,777	165,744
1	22	9,133	337	9,470	24	512	1,339	1,851	11,321	177,065
2	23	15,443	7	15,450	25	520	2,040	2,560	18,010	195,075
3	27	22,462	16	22,478	27	605	2,189	2,794	25,272	220,347
計	269	193,854	462	194,316	299	5,219	20,812	26,031	220,347	

※特別整理休館：12月13日～28日

(3) 秀吉清正記念館

（単位:人）

月	開館日数(日)	入場者数	累　計	備　　考
4	25	1,991	1,991	
5	25	2,491	4,482	
6	25	2,208	6,690	
7	25	2,415	9,105	
8	26	2,739	11,844	
9	25	2,510	14,354	
10	25	6,530	20,884	特別陳列-20日 （入場者2,897人）
11	20	6,032	26,916	特別陳列-20日 （入場者3,016人）
12	16	1,427	28,343	
1	23	2,086	30,429	
2	24	2,037	32,466	
3	26	2,190	34,656	
計	285	34,656		

※館内点検休館:11月24日～12月8日

4　ギャラリー・講堂利用日数

（単位:日）

室名／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ギャラリー	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	屋外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講堂		1	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7
開室日数		3	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	9

※リニューアルに伴う休館：10月1日～（ギャラリー休止は4月4日～）

5 年度別入場者数

（単位：人）

年度（昭和）	常設展	資料学習室	ふれてみる学習室	部門展	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講堂					計	累計
52				184,694	17,099	203,569	48,302	4,195					457,859	
53	85,044			34,077	17,642	103,848	332,031	10,881					583,523	1,041,382
54	104,009			40,013	10,514	184,316	307,735	22,609					669,196	1,710,578
55	130,562	38,702		28,301	8,788	177,337	276,578	25,782					686,050	2,396,628
56	73,655	29,284	6,748	14,237	9,106	66,104	273,704	25,421					498,259	2,894,887
57	105,109	47,214	45,188	21,677	9,806	132,369	281,767	22,247					665,377	3,560,264
58	94,941	36,437	35,079	32,026	9,063	121,480	297,097	22,021					648,144	4,208,408
59	86,112	25,419	23,778	16,515	11,986	96,428	394,204	21,852					676,294	4,884,702
60	85,781	41,651	41,935	25,873	9,968	117,928	649,486	22,278					994,900	5,879,602
61	93,251	37,345	38,390	22,224	19,079	149,416	489,186	21,802					870,693	6,750,295
62	101,447	36,485	36,683	16,823	4,597	182,725	388,101	22,372					789,233	7,539,528
63	17,421	16,919	19,322	22,639	8,736	39,544	336,466	20,443					481,490	8,021,018
年度（平成）	常設展	ビデオミュージアム	ふれてみる学習室	収蔵品展等	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講堂	展示説明室	体験学習室	ナイトミュージアム	歴史体験セミナー	計	累計
元	82,336	24,774	22,128	7,687	17,657	161,125	359,028	20,162					694,897	8,715,915
2	69,993	24,795	16,218	4,587	16,561	86,570	340,936	19,230					578,890	9,294,805
3	84,465	31,351	20,711	7,883	40,027	168,556	362,912	23,684					739,589	10,034,394
4	60,601	29,091	19,500	7,399	21,249	86,728	322,388	20,745					567,701	10,602,095
5	72,949	28,573	19,460	10,366	20,165	102,159	363,434	22,956					640,062	11,242,157
6	145,272	46,024	32,257	7,595	22,635	349,128	380,446	25,455					1,008,812	12,250,969
7	83,387	31,717	18,968	0	47,829	160,360	346,948	25,544					714,753	12,965,722
8	95,118	30,912	19,504	11,014	20,539	178,565	416,896	17,552					790,100	13,755,822
9	122,665	36,084	20,061	9,045	16,027	298,052	404,502	24,897					931,333	14,687,155
10	70,970	23,553	11,393	5,433	21,127	164,503	337,974	20,380					655,333	15,342,488
11	52,972	19,836	11,612	5,520	24,470	74,815	315,838	18,734					523,797	15,866,285
12	150,760	32,849	23,405	9,365	18,827	308,229	324,538	18,651					886,624	16,752,909
13	66,376	17,491	8,581	13,592	9,260	134,976	309,714	16,267					576,257	17,329,166
14	56,137	15,185	7,038	32,608	14,874	74,848	283,883	17,713					502,286	17,831,452
15	56,609	12,661	5,928	35,332	16,539	58,023	281,581	12,185					478,858	18,310,310
16	61,536	13,478	11,680	3,883	15,104	119,227	213,778	9,509					448,195	18,758,505
17	82,856	14,285	15,083	5,703	43,756	159,078	239,336	8,484					568,581	19,327,086
18	40,746	11,631	11,526	5,309	38,370	39,189	209,861	6,639					363,271	19,690,357
19	98,783	10,475	13,083	0	11,871	153,825	244,570	5,869					538,476	20,228,833
20	68,419	9,397	11,943	16,403	9,362	87,638	235,367	6,132	3,492				448,153	20,676,986
21	90,214	8,432	12,978	0	16,515	124,384	221,495	8,162	1,233				483,413	21,160,399
22	70,825	6,774	7,983	49,367	7,361	141,400	220,437	7,990	1,289				513,426	21,673,825
23	68,383	4,318	7,669	0	0	111,551	177,111	6,481	2,620	22,251			400,384	22,074,209
24	63,990	6,358	7,099	0	9,640	288,131	167,310	11,222	2,384	21,536	1,786	9,558	589,014	22,663,223
25	68,916	8,596	13,504	0	2,970	132,235	187,082	8,543	2,447	17,953	1,700	12,156	456,102	23,119,325
26	65,515	5,749	14,329	0	3,818	130,075	164,412	5,920	6,229	22,835	943	6,693	426,518	23,545,843
27	69,076	3,207	14,428	4,576	19,025	123,741	158,886	7,511	2,049	22,251	1,256	11,544	437,550	23,983,393
28	70,294	6,905	14,742	0	8,142	139,512	170,943	7,841	6,639	22,455	1,372	6,405	455,250	24,438,643
29	81,784	4,202	13,150	0	0	238,137	170,290	6,230	2,550	23,184	561	7,887	547,975	24,986,618
30	58,372	3,192	10,166	0	4,752	105,671	162,903	6,087	2,074	21,927	851	2,643	378,638	25,365,256
年度（令和）	常設展	ビデオミュージアム	ふれてみる学習室	収蔵品展等	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講堂	展示説明室	体験学習室	ナイトミュージアム	歴史体験セミナー	計	累計
元	63,587	2,742	10,838	0	18,952	218,977	134,681	6,172	3,404	21,136	715	7,568	488,772	25,854,028
2	16,421	2,077	6,321	0	14,411	11,721	56,776	861	406	8,786	0	803	118,583	25,972,611
3	35,398	2,051	10,042	0	0	100,031	88,699	1,680	790	2,268	0	10,016	250,975	26,223,586
4	66,715	2,860	13,754	0	4,331	129,091	104,267	2,567	1,177	1,814	0	5,347	331,923	26,555,509
5	42,116	2,715	10,129	0	0	73,998	811	802	775	0	0	15,352	146,698	26,702,207
計	3,531,888	843,796	734,334	711,766	692,550	6,609,313	12,554,690	670,760	39,558	208,396	9,184	95,972	26,702,207	

※「ふれてみる学習室」は、平成16年度から「触れてみるコーナー」、「ビデオミュージアム」は平成22年度から「ビデオコーナー」。

※「収蔵品展等」の欄は、平成元年度から22年度については収蔵品展の、27年度については「東日本大震災復興と名古屋」展の入場者数。

※令和5年度は10月1日から休館。

出 版 物 案 内

（令和 6年 3月31日 現在）

出 版 物 名	刊行年	販売価格
博物館資料叢書3　猿猴庵の本		
（第2回配本） 画誌卯之花笠	2001 年	1,200 円
（第3回配本） 新卑姑射文庫	2002 年	1,200 円
（第4回配本） 絵本清洲川・続梵天錦	2002 年	1,200 円
（第5回配本） 新卑姑射文庫　二編	2002 年	1,200 円
（第6回配本） 新卑姑射文庫　三編	2003 年	1,200 円
（第7回配本） 北斎大画即書細図・女謡曲採要集	2004 年	1,200 円
（第8回配本） 御鍬祭真景図略　一	2004 年	1,200 円
（第9回配本） 御鍬祭真景図略　二	2005 年	1,200 円
（第10回配本） 笠寺出現宝塔絵詞伝	2005 年	1,200 円
（第11回配本） 東街便覧図略　巻二	2005 年	1,200 円
（第12回配本） 御船御行列之図・桜見与春之日置・絵本江崎之春	2006 年	1,200 円
（第13回配本） 泉涌寺霊宝拝見図・嵯峨霊仏開帳志	2006 年	1,200 円
（第14回配本） 絵本駱駝具誌	2007 年	1,200 円
（第15回配本） 御鍬祭真景図略　三	2008 年	1,200 円
（第16回配本） 萱津道場参詣記	2008 年	1,200 円
（第17回配本） 東街便覧図略　巻三	2010 年	1,200 円
（第18回配本） 絵本音聞山	2011 年	1,200 円
（第19回配本） 絵本上雲雀	2012 年	1,200 円
（第20回配本） 東街便覧図略　巻四	2014 年	1,200 円
（第21回配本） 張州勝藍開帳集	2015 年	1,200 円
（第22回配本） 東街便覧図略　巻五	2016 年	1,200 円
（第23回配本） 東街便覧図略　巻六	2017 年	1,200 円
（第24回配本） 東街便覧図略　巻七	2018 年	1,200 円
（第25回配本） 東街便覧図略　巻一（改訂版）	2019 年	1,200 円
（第26回配本） 安永洪水図	2020 年	1,200 円
（第27回配本） 画本開帳談話	2021 年	1,200 円
（第28回配本） 風流甚目寺参詣の記・高田山開帳参案内図会	2022 年	1,200 円
（第29回配本） 猿猴庵日記　天明四年	2023 年	1,200 円
（第30回配本） 猿猴庵日記　天明五年	2024 年	1,200 円
展覧会図録等		
【常設展】「尾張の歴史」ガイドブック	2003 年	700 円
『特別展』 柳宗悦　生誕百年記念	1988 年	800 円
『特別展』 日本の物語絵	1988 年	800 円
『特別展』 日本の美と匠	1992 年	1,000 円
『特別展』 東海百観音名宝展	1993 年	1,200 円
（企画展） れきしどうぶつえん	1995 年	300 円
『特別展』 新博物館態勢	1995 年	500 円
『特別展』 ウィーンの歴史と芸術	1997 年	2,300 円
『特別展』 妙法院と三十三間堂	1999 年	1,000 円
（企画展） 中林竹渓	1999 年	500 円
（企画展） おもしろやきもの展　ハンドブック	2000 年	400 円
『特別展』 北の民　アイヌの世界	2000 年	1,000 円
（企画展） 無病息災　－病を克服する知恵と祈り－	2001 年	700 円
『特別展』 19世紀ウィーンへの旅	2003 年	2,500 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
（企画展） 富士見の里　昔の前津　－江戸から昭和－	2006 年	800 円
『特別展』 からくり　－見る、作る、遊ぶ－	2007 年	600 円
（企画展） 小栗鉄次郎　－戦火から国宝を守った男－	2009 年	700 円
『特別展』 妙心寺　－禅の心と美－	2009 年	2,000 円
『特別展』 名古屋400年のあゆみ	2010 年	1,500 円
『特別展』 変革のとき　桃山	2010 年	2,200 円
『特別展』 古代メキシコ　オルメカ文明展	2011 年	2,000 円
『特別展』 狂言でござる	2011 年	1,300 円
『特別展』 芭蕉－広がる世界、深まる心－	2012 年	2,000 円
『特別展』 驚きの博物館コレクション	2013 年	1,000 円
『特別展』 マジックの時間　公式ガイドブック	2013 年	500 円
『特別展』 三英傑と名古屋	2014 年	1,200 円
『特別展』 感じる縄文時代	2014 年	600 円
『特別展』 いつだって猫展（初版）	2015 年	2,200 円
『特別展』 名古屋めしのもと	2015 年	1,500 円
（企画展） 採録　名古屋の衣生活	2017 年	1,000 円
『特別展』 北斎だるせん！	2017 年	2,200 円
『特別展』 画僧　月僊	2018 年	2,000 円
（企画展） 書で集う	2019 年	900 円
台風記 （「治水・震災・伊勢湾台風」作文集）	2019 年	1,800 円
（地域展）尾張の城と城下町　三英傑の城づくり・町づくり　展示ガイドブック	2019 年	1,000 円
『特別展』 模様を着る	2020 年	2,300 円
（企画展） なごやのうつりかわり	2021 年	500 円
『特別展』 大雅と蕪村	2021 年	2,500 円
（企画展）『本校ヨリノ通知綴』抄・『B29空襲日誌』（「戦前を生きる」資料集）	2023 年	500 円
『特別展』 The　名古屋市博物館	2023 年	1,500 円
館蔵品図録Ⅰ	1982 年	1,000 円
館蔵品図録Ⅱ	1987 年	1,000 円
館蔵品百選	1997 年	1,000 円
館蔵品目録　第2分冊	1997 年	1,200 円
館蔵品目録　第4分冊	2000 年	800 円
資料図版目録3 「尾張の俳諧」	2002 年	900 円
資料図版目録4 「くらしのうつりかわり」	2003 年	600 円
資料図版目録5 「愛知の縄文遺跡」	2004 年	1,000 円
資料図版目録6 「尾崎久弥浮世絵コレクション　歌川国貞」	2005 年	900 円
資料図版目録7 「大和古瓦図版目録」	2006 年	700 円
資料図版目録9 「尾張のやきもの」	2013 年	700 円
資料図版目録10 「横井庄一生活資料」	2015 年	700 円
調査研究報告・博物館資料叢書		
博物館資料叢書1　三寶繪	1989 年	3,000 円
調査研究報告Ⅲ　明治期博覧会出品七宝工総覧	1996 年	500 円
調査研究報告Ⅴ　宝玉七宝	2000 年	800 円
研究紀要		
名古屋市博物館研究紀要　第16巻	1993 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要　第17巻	1994 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要　第21巻	1998 年	300 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
名古屋市博物館研究紀要　第22巻	1999 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要　第24巻	2001 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要　第25巻	2002 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第26巻	2003 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第27巻	2004 年	600 円
名古屋市博物館研究紀要　第28巻	2005 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第29巻	2006 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第30巻	2007 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要　第31巻	2008 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第32巻	2009 年	600 円
名古屋市博物館研究紀要　第33巻	2010 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第34巻	2011 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第35巻	2012 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第37巻	2014 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第38巻	2015 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第39巻	2016 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第40巻	2017 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第41巻	2018 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第42巻	2019 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第43巻	2020 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要　第44巻	2021 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第45巻	2022 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第46巻	2023 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要　第47巻	2024 年	500 円

名古屋市博物館 年報　№47

（令和５年度）

発行日　令和６年（2024）６月１日

編　集
発　行　名古屋市博物館
名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1
TEL　052（853）2655
FAX　052（853）3636